

令和7年度施行

業務設計書(公示用)

業務名：豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)

R6年 11月 単価適用

豊平区土木部維持管理課

業務名: 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)

業務委託費	円
業務価格	円
消費税等相当額	円

業務の説明

1. 業務の場所

- ・ 豊平区内（豊平北地区）
公園41箇所、街路樹50路線（位置図・数量調書参照）

2. 業務の概要

- ・ 公園維持管理 清掃・草刈一式、樹木管理一式、施設管理一式、鳥獣対応一式
- ・ 街路樹維持管理 清掃・草刈一式、樹木管理一式、歩道美化一式、鳥獣対応一式

3. 業務の期間

- ・ 令和7年3月15日より令和8年3月14日まで

4. 仕様書等

- ・ 札幌市公園及び街路樹等総合維持管理業務仕様書による。
- ・ 札幌市土木工事共通仕様書による。
- ・ 特記仕様書(豊平北地区)による。
- ・ 内訳書の表記について

札幌市公園及び街路樹等総合維持管理業務

仕様書

令和 **7** 年度版

札幌市公園及び街路樹等総合維持管理業務仕様書

目 次

1	一 般	-----	1
2	管 理	-----	5
3	施設管理	-----	8
4	図 面	-----	16

— 般

1 適用範囲

札幌市公園及び街路樹等総合維持管理業務の仕様は本仕様書によるほか、設計書に明示されている仕様書による。また、設計書、参考資料等と現地の状況に相違がでた場合、及び天候その他不可抗力等により業務の遂行が不可となった場合は、受託者は担当職員に確認して指示を受けなければならない。

2 用語の定義

この仕様書において次に掲げる用語は、それぞれの定義による。

- (1) 担当職員とは、業務主任及び副主任である本市の職員をいう。
- (2) 指示とは、担当職員が受託者に対し履行箇所、期間、工法等を示し、業務を実施させることをいう。
- (3) 承諾とは、受託者が担当職員に報告し、担当職員が事前に了解することをいう。
- (4) 完了とは、業務のすべてを終了することをいう。
- (5) 終了とは、業務期間内において部分的に終了することをいう。
- (6) 検査とは、中間、終了及び完了の検査をいう。
- (7) 確認とは、業務委託期間内において、一定期間内の業務の履行の確認をいう。
- (8) 協議とは、委託者と受託者が対等の立場で合議することをいう。
- (9) 現場代理人とは、業務の的確な履行を確保するため、受託者の代理人として業務の運営、取締りを行うほか、履行に関する一切の事項を処理する者をいう。

3 書類

受託者は、別に示す様式により、指定期日までに関係書類を担当職員に提出しなければならない。

4 業務計画

- (1) 受託者は、担当職員と協議の上、適切な業務計画を立て業務を遂行しなければならない。
- (2) 受託者は、業務の内容に応じて次の事項の内容を記載した業務計画書を、着手後すみやかに担当職員に提出するものとする。
 - ア 作業工程表
 - イ 現場組織表（施工体系図を含む）
 - ウ 使用車両・使用機械
 - エ 履行方法
 - オ 履行管理計画
 - カ 社内検査
 - キ 緊急時の体制及び対応
 - ク 安全管理（安全訓練等の実施計画を含む）
 - ケ 交通管理

- コ 環境対策
- サ 建設副産物の適正処理計画
- シ その他（街路樹剪定の技術研修の計画、道路使用許可申請関連を含む）

5 用地の使用等

- (1) 受託者が業務実施のために必要な公共用地を使用する場合は、あらかじめ所定の手続きを取るものとする。
- (2) 受託者が業務実施に必要な私有地を借用し、または買収したときは、その土地の使用により生じた苦情及び紛争は、責任をもって解決しなければならない。

6 作業内容等の変更

作業内容等の変更については、契約約款第 8 条に基づくものとする。受託者及び担当職員は作業内容等の変更について協議し、変更指示書(様式 29)により指示を受けて、変更承諾書(様式 34)を提出の上、作業を実施するものとする。

7 支給品

受託者は、支給材料を適正に管理し、業務完了時に精算を行うこと。

8 業務現場発生品

業務履行によって生じた発生品は、担当職員の指示に従い整理のうえ、担当職員の指定する場所で引き渡されなければならない。

9 業務の検査

- (1) 業務終了後に手直し又は検査を行うことが困難であるような箇所については、担当職員の検査を受けた後でなければ次の作業に着手してはならない。
- (2) 業務完了の検査にあたっては、現場代理人又は主任技術者がこれに立ち会わなければならない。

10 事故報告

受託者は、業務の履行中に事故が発生した場合には、被災者がいる場合には被災者に対し適切かつ迅速に誠意をもって対応することとし、直ちに担当職員に報告するとともに、業務事故報告書を担当職員に速やかに提出しなければならない。

11 環境負荷の低減

委託業務の履行にあたっては、本市の環境方針（令和 3 年 4 月 1 日）に基づき、環境に与える負荷を低減するように努力すること。

- (1) 車両関係

ア 極力低公害車等、環境に負荷の少ない車両を使用すること。

イ 環境に負荷の少ない運転をすること。

- ・急発進、急加速、空ふかしをしないこと。
- ・適正な空気圧、経済速度で走行すること。
- ・不要な荷物、遊具類を積まないこと。

ウ アイドリングストップを徹底するなど、燃料の節約に努めること。

- ・駐停車する場合には、エンジンを止めること。
- ・必要以上の暖機運転及び冷暖房のためのアイドリングを自粛すること。

エ 作業員等の人員輸送については、なるべく公共交通機関の利用に努めること。また、車を使用する場合は、乗り合わせを行い必要最小限度にとどめること。

(2) その他

ア 成果品に紙を使用する場合は、古紙配合率の高いものを使用し、複数ページにわたる場合は、原則として両面印刷とする。

イ 本業務の履行において使用する商品・材料等については、極力環境に配慮したものを使用すること。

12 交通規制

一定期間、交通規制を必要とする場合は、その方法について担当職員及び関係官庁と協議し、実施及び解除期間等について承認を得なければならない。

13 交通安全施設

作業上、一時的に撤去又は移設する交通安全施設は、作業完了後すみやかに復元し担当職員の確認を得なければならない。

14 諸法規の遵守

受託者は業務の履行にあたり、建設業法、労働基準法、職業安定法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、環境基本法、農薬取締法、毒物及び劇物取締法、道路交通法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の諸法令を遵守し、業務の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の運用は、受託者の負担と責任において行わなければならない。

15 官公庁への手続き

- (1) 業務履行のため必要な関係官庁その他に対する諸手続は、受託者において迅速に処理しなければならない。
- (2) 関係官公庁その他に対して交渉を要するとき、又は交渉を受けたときは、すみやかにその旨を担当職員に申し出て協議するものとする。

16 休日又は夜間における業務

業務実施の都合上、日曜日や祝日又は夜間に業務を必要とする場合は、あらかじめ担当職員の承諾を得なければならない。但し、緊急時はこの限りではない。

17 測量

業務に必要な遣方、その他施工の基準となる仮施設は、受託者が設置し、担当職員の検査を受けなければならない。

18 保険

- (1) 受託者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び、中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。また、任意の損害保険に加入しなければならない。
- (2) 道路交通法の適用を受ける機械の使用にあたっては、自賠責保険と同額以上の任意保険に加入し担当職員の確認を受けなければならない。

19 技能講習

- (1) 技能講習者が従事することになっている業務については、特別な場合以外は技能講習者以外の者に業務を行わせてはならない。
- (2) 街路樹管理を含む業務の受託者は、街路樹剪定の技術向上のため、研修を年1回以上行わなければならない。

ア 受託者は街路樹の剪定作業の実施前に、剪定に従事する作業員全員の参加により、一般社団法人日本造園建設業協会が認定する街路樹剪定士の資格を有する者を講師とした技術研修を実施しなければならない。なお、業務計画書に剪定業務の内容に応じた技術研修の具体的な計画を作成し、担当職員に提出すること。また、その実施状況を記録した資料を整備保管し、担当職員の請求があった場合は直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

イ 受託者は、剪定業務に従事する作業員の中に街路樹剪定士の資格を有するものがある場合は、その名簿を担当職員に提出すること。

20 個人情報取扱注意事項

- (1) 受託者は、業務実施に当たって、個人情報を取り扱う際には、契約約款の別記「個人情報の取扱いに関する特記事項」及び別紙2の「個人情報取扱安全管理基準」を遵守しなければならない。
- (2) 本業務における『施設管理 街路樹編 4 花苗配布、マイタウン・マイフラワー (p15)』で使用する申込書には、配布先の氏名や住所等の個人情報が記載されている。本市から当該申込書を受け取ってから返却するまでの期間は、毎月、個人情報取扱状況報告書(様式38)の提出により取扱状況を報告すること。

21 調査に対する協力

受託者は、札幌市が自ら、又は札幌市が指定する第三者が行う調査に対し、担当職員の指示により、これに協力すること。

管 理

1 履行管理

受託者は、担当職員と協議し、適切な履行管理を行うこと。

2 現場管理

- (1) 作業時間は第三者に対する危険防止からも、特に担当職員が認める場合以外、日没後に履行してはならない。
- (2) 受託者は、土木工事安全施工技術指針を参考に常に業務の安全に留意して現場管理を行い、災害の防止に努めるとともに、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針を参考にして、業務に伴う騒音振動の発生をできるだけ防止し、生活環境の保全に努めなければならない。
- (3) 機械使用の場合は、機種等は担当職員の承諾を受けること。
- (4) 機械の使用に資格が必要な場合には、資格証明の写しを整備し、担当職員から提出を求められた場合には速やかに提出できるようにすること。
- (5) 作業中は「作業中」、「注意」の看板等を標示すること。
- (6) 機械の運転中はもちろん、休息中も危険な状態にならないよう、監視員を配置するなどの措置をとり、注意を怠らないこと。
- (7) 作業終了後は、後片づけはもちろん、作業指示区域の周囲を清掃し、ゴミ等はその日のうちに処理すること。
- (8) 作業終了後は、機械その他の工具等を一切置かないこと。
- (9) 受託者は業務現場が隣接し、又は同一場所において別途業務がある場合は、常に相互協調して紛争を起こさないように処置しなければならない。
- (10) 受託者は業務履行中、担当職員及び管理者の許可なくして流水及び交通の妨害となるような行為、又は公衆に迷惑を及ぼすなどの履行方法をしてはならない。
- (11) 受託者は市街地における業務について建設工事公衆災害防止対策要綱に準拠し、災害の防止に努めなければならない。
- (12) 豪雨、出水、その他天災に対しては、平素から気象予報などについて十分な注意を払い、常にこれらに対処できる準備をしておかななければならない。
- (13) 業務中必要な保安措置は、関係法規に従って行わなければならない。
- (14) 受託者は、業務の実施に影響を及ぼす事故、あるいは人命に損傷を生じたとき、又は第三者に損害を与えた事故が発生した時は、遅滞なくその状況を担当職員に報告しなければならない。
- (15) 受託者は業務の履行にあたり、現場の環境を阻害することのないよう、その保全について十分に注意しなければならない。
- (16) 業務が終了したときは、後片づけ及び清掃を業務期間内に完了しなければならない。

3 安全管理

受託者は、業務の履行にあたり事故防止に十分留意しなければならない。

- (1) 受託者は業務着手後、作業員全員の参加により業務の 1 期当り半日以上時間を割当て、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。なお、業務計画書に当該業務の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、担当職員に提出するとともに、その実施状況を記録した資料を整備保管し、担当職員の請求があった場合は直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

(安全に関する研修・訓練等の例)

ア 安全活動のビデオ視聴覚資料による教育

イ 当該業務内容の周知徹底

ウ 当該業務における災害対策訓練

エ 当該業務で予想される事故対策

オ その他、安全・訓練等として必要な事項

- (2) ダンプトラック、大型貨物自動車による土砂、業務用資材などの運送計画の立案にあたっては、適法な運送業者を使用することとし、過積載などによる事故防止とともに、下請業者の雇用する運転者に対しても、その浸透を図らなければならない。
- (3) 運転者に対しては、安全運転講習会の開催等、安全運転意識の向上に努めるとともに、下請業者の雇用する運転者に対しても、その浸透を図らなければならない。
- (4) 業務に関連して発生した交通事故及び業務従事者の悪質な交通違反は、その発生の都度、遅滞なく担当職員に文書をもって報告しなければならない。
- (5) 一般交通の用に供している道路を業務履行のため使用する場合は、受託者はあらかじめ担当職員及び所管警察署と、交通規則等の具体的打ち合わせを行い、所管警察署が付す道路使用許可条件を遵守しなければならない。なお、道路使用許可条件以外の以下の点についても遵守すること。
- ア 交通規制の期間（時間）は必要最低限にとどめるよう努めること。
- イ 通行禁止を行う場合は、原則として迂回路を設けること。
- ウ 通行禁止区間であっても、区域内居住者のために必要と認められる交通は確保すること。
- (6) 業務現場近くに児童に関する施設があって、児童がしばしば業務現場を通行する場所については、教育機関に依頼し児童に注意を呼びかけなければならない。
- (7) 業務現場に児童が立ち入ろうとする場合には、作業員、又は誘導員は危険を児童に教えるとともに注意し安全な場所へ誘導すること。
- (8) 業務現場近くに高齢者又は障がい者の施設があって高齢者又は障がい者がしばしば通行する場合には、通行に支障のない通路等を確保すること。

4 写真管理

(1) 基本事項

- ア 写真の種類…35mm 版、APS、電子媒体（デジタルカメラ）
- イ 写真の色彩…カラー
- ウ 写真の大きさ…サービスサイズ程度
- エ 写真帳の大きさ…4 切版のフリーサイズ又は A4 版
- オ 写真帳の提出部数…1 部（原本（ネガ、CD-R 等）は担当職員からの指示があった場合は提出する。）
- カ 撮影項目…作業状況（作業前後及び作業中）
- キ 撮影頻度（提出頻度）…別紙 1（公園、街路樹）の基準を標準とする。

(2) 留意事項

- ア 撮影した写真を明確にするため、次の事項を記入した小黒板を必要に応じて写し込むこと。
○業務名 ○工種 ○撮影月日 ○撮影場所 ○立会担当職員名（立会った場合のみ）
- イ 撮影した写真は、作業状況、寸法等の確認、判定等ができるよう工夫するものとし、撮影方法の詳細については、あらかじめ担当職員と協議するものとする。
- ウ 撮影後は速やかに撮影の適否を確認する。
- エ 電子媒体による写真については、必要な文字、数値等の内容が判読できる機能、精度を確保できる撮影機材を用いるものとする。（有効画素数 80 万画素以上、プリンターはフルカラー 300dpi 以上、インク・用紙等は通常の使用条件のもとで 3 年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。）
- オ 業務写真帳については、工種毎に整理することを基本とし、その詳細についてはあらかじめ担当職員と協議するものとする。

5 業務報告

- (1) 業務週報（様式 22）は原則として、前週の月曜日から日曜日までの作業日、作業箇所、作業内容、今週の作業予定、並びに担当職員からの連絡（指示）を記載のうえ、原則として毎週月曜日に担当職員に提出すること。
- (2) 業務週報の他、下記の報告書についても提出すること。
【毎週提出するもの】
 - 遊水路管理業務報告…監視員が常駐の場合。塩素濃度測定報告を含む。
 - ゲート開閉業務報告
【毎回提出するもの】
 - 巡視点検報告…必要に応じ写真を添付する。
- (3) 各月の月末には、維持管理報告書（様式 23）として、当月の作業内容の総括表を作成し別に示す様式（様式 24、25）により提出すること。
- (4) 契約書に示す各期末には終了（完了）届（様式 21）とともに、各作業内容を明確に撮影した写真も提出すること。

施 設 管 理

公園・街路樹共通編

1 施設管理一般

- (1) 各作業の実施にあたって、実施方法、時期等については、担当職員と協議すること。
- (2) 担当職員が特に指定した作業については、作業の開始、終了等を担当職員に報告し、確認を受けること。
- (3) 作業時に、異常箇所を発見した場合はただちに報告し週報等に記載すること。なお、危険性の高い破損、支障を発見したときは、ただちに事故防止等の処理（応急措置）を行い担当職員に報告し指示を受けること。

2 農薬散布

病虫害の防除に当たっては農薬以外の方法を検討し、やむを得ない場合に農薬を使用するものとする。なお、農薬の使用に当たっては、「住宅地等における農薬使用について」（平成 25 年 4 月 26 日付け 25 消安第 175 号農林水産省消費・安全局長、環水大土発第 1304261 号環境省水・大気環境局長通知）の項目を遵守すること。

3 ゴミ・剪定枝・刈草等の処理について

- (1) 回収したゴミ等は種類ごとに分別すること。
- (2) リサイクル可能なものについてはリサイクルを基本とする。
- (3) 搬入先については、種別ごとに業務計画書（建設副産物の適正処理計画）に明記すること。
なお、担当職員から別途指示があった場合はその指示によること。
- (4) （一財）札幌市環境事業公社 篠路資源化センターへの剪定枝の搬入は、当センターが定める下記の基準を参考に行うこと。
 - ア 幹は直径 80cm 以下、長さ 2m 以下のもの。
 - イ 根は最大寸法（直径・長さ）1m 以内で、土を落としたもの。
 - ウ 毒のある樹木は搬入不可となる場合がある。
（一例）アジサイ、イチヨウ、トチノキ、ニセアカシア など
 - エ トゲのある樹木は、他の樹木と分ければ搬入可能。ただし、搬入の際は申出が必要。
（一例）ハリギリ、ボケ など
 - オ 刈草・葉・イチヨウの葉等のリサイクルに不適なものは搬入不可となる場合がある。
 - カ 混載で搬入する場合、剪定枝と幹・根は降ろす場所が異なるため、分けて積載するよう心掛けること。
- (5) 道央地区未利用バイオマス供給協議会（以下、「買取者」という。）への剪定枝等売り払いについては、買取者が搬出するほか、買取者の指定場所へ持ち込むことも可とする。実施する場合は下記の手順により行うこと。

- ア 事前に担当職員及び買取者と協議を行うこと。
- イ 受託者は、売払い予定の剪定枝等について、木質バイオマス証明（様式 31）を作成し、買取者へ提出すること。
- ウ 剪定枝等は、担当職員の指定する資材置き場等、または買取者の指定場所へ下記①と②に分けて搬入すること。
- ①タンコロ・枝・根株：長材以外の幹材または枝条や根株。土は極力取り除くこと。
- ②長材：末口直径 6.0 cm から 50 cm 未満で材長 2.4m の幹材。または、末口直径 50cm 以上で材長 2.0m の幹材。
- エ 買取者が搬出する場合の売払い 1 件あたりの最低量は、11t ダンプトラック 1 台程度を目安とする（①：4～5t 程度、②：20m³ 程度）。
- 買取者の指定場所へ持ち込む場合の売払い 1 件あたりの最低量はない。
- オ 受託者は、買取者より計量伝票を受取り、計量伝票の写しを担当職員へ提出すること。
- カ その他詳細については担当職員と協議すること。
- (6) 特定外来生物の刈草等の取り扱いについて
- ア 受託者は、区域内に下記の特定外来生物（植物）の生育（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）を確認した場合は、担当職員に報告しなければならない。
- イ 受託者は区域内に特定外来生物（植物）の生育が確認された場合で、除草行為を行う必要がある場合は、「駆除」又は「防除」により行うこととし、その方法については担当職員と協議し、その指示に従うこと。
- なお、特定外来生物の同定方法については、環境省ホームページを参照のこと。
http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/10hp_shokubutsu.pdf
- 札幌市内で確認されている特定外来生物（植物）の種は次の 3 種である
- 種名：オオハングソウ、オオキンケイギク、オオフサモ（令和 3 年 11 月時点）
- (7) 受託者以外の者の作業により発生した刈草等を運搬する場合は、事業系一般廃棄物（伐採・抜根等）運搬の許可を持つ者が行うこと。

4 カラスの巣撤去

公園・緑地内及び街路樹にカラスの巣を発見した時は、直ちに担当職員に連絡し、対応について指示を受けること。担当職員から撤去の指示があった場合には、担当職員と作業方法を十分打ち合わせるとともに、下記事項について十分注意して作業すること。

- (1) 巣の撤去を行うときは「鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等」の従事証を携帯し、関係者から求められた場合は提示すること。また札幌市より配布された指定の腕章（鳥獣捕獲用）を着用すること。
- (2) 配布された腕章及び従事者証についてはこの許可期間満了後に返還すること。
- (3) 撤去する際には、公園利用者や周辺住民に対し危害が及ばないように、十分周知するとともに、利用者が作業場所周辺に近づかないように安全対策をとること。

5 ハチの巣撤去

公園・緑地内及び街路樹にハチの巣を発見した時は、直ちに担当職員に連絡し、対応について指示を受けること。担当職員から撤去の指示があった場合には、担当職員と作業方法を十分打ち合わせるとともに、下記事項について十分注意して作業すること。

- (1) 基本的に撤去するハチの巣は、スズメバチ類、アシナガバチ、ミツバチ、マルハナバチのものとする。
- (2) 撤去作業者は、ハチの攻撃に対して防御効果のある防護服、ヘルメット、手袋、長靴などを着用して作業すること。
- (3) 撤去する際には、公園利用者や周辺住民に対し危害が及ばないように、十分周知するとともに、作業周辺に近づかないように安全対策をとること。
- (4) 撤去の際に薬剤が必要な場合には、使用する薬剤についてあらかじめ担当職員の承認を得ること。
- (5) 撤去後、ハチが巣の周辺にとどまることが予想され、公園利用者や周辺住民に危害の及ぶ恐れのあるときは、その周辺に近づかない措置を引き続き講じること。
- (6) 前項の措置を解除するときは、担当職員の承認を得ること。
- (7) 撤去した巣の処分は、担当職員の指示によること。

6 冬囲い

雪害や事故防止等を目的として、樹木及び施設等の冬囲い設置・撤去を行う。実施時期については、気象条件等によって変更する場合があるため、担当職員と協議の上で決定すること。

- (1) 冬囲いについては、指定された箇所を指定された内容、方法で実施すること。なお、冬囲い方法については、図面のとおりとすること。
- (2) 鉄棒の冬囲いについては図面を参考に、本市が支給する使用禁止テープ（緑色）及び禁止札を使用して実施すること。
- (3) ブランコは、ムシロやブルーシート等の緩衝材で梁部を養生した上で着座部を固定すること。
- (4) シーソーは、旧式のものについては、着座部を外してブルーシート等で養生した上で、脚部に固定すること。新式のものについては、着座部を外さず、ブルーシート等で養生し、着座部が動かないように固定すること。

公 園 編

1 管理一般

- (1) 作業内容は、清掃、草刈等設計書及び委託内訳書に示された内容を実施すること。
- (2) 町内会等管理の公園についても、清掃、草刈以外の管理について設計書及び委託内訳書に示された内容を実施すること。

2 清掃

公園及び緑地にある危険もしくは不必要なガラス、石、動物の糞、塵芥等を除去し安全・衛生に配慮しながら必要に応じて実施すること。

- (1) 区域：指定された区域全域を行うこと。
- (2) 回数：指定された回数を行うこと。
- (3) 作業日：指定された日に行うこと。
- (4) 塵芥処理：清掃により集められた塵芥等は、本市が定めた種類ごとに分別し適切に処理すること。
- (5) 砂場：砂場の清掃はゴミ・ガラスの破片等危険なもの、石、動物の糞等を念入りに除去すること。
- (6) 各施設の着地点、特にターザンロープ等の着地点については、石・ガラス等の突起物に注意し除去すること。
- (7) 排水施設：排水施設の清掃は、桧（水飲台の溜桧を含む）、側溝等のゴミや落葉等を除去すること。なお、発生する汚泥は「産業廃棄物」となるため担当職員と協議すること。

3 草刈

公園及び緑地等の芝生の生育維持、美観の維持等、芝生の良好な状態を維持するため行うものである。

- (1) 区域：指定された区域全域を行うこと。
- (2) 回数：指定された回数を行うこと。
- (3) 草丈：草丈は4 c m前後に仕上げること。
- (4) 方法：樹木や株物の周辺、施設の縁については、樹木等を傷つけない方法で行うこと。
- (5) 安全対策：機械刈を行う際は、作業区域内に安全施設を設置し作業すること。また、小石などの飛散防止対策を講じること。
- (6) 草の処理：刈り取った草の処理は速やかに行い、十分に乾燥させた上、特に指定された場合を除き本市指定処理場に運搬し処分すること。
- (7) 樹木を傷つけた場合：樹木の根元等を傷つけた場合には、保護剤などを塗布するなどの処置を施し、樹木の養生を行うこと。

4 生垣

- (1) 生垣の刈込は指定回数以上行い、刈り込んだ枝葉は集積し処理すること。
- (2) 実施期間は現場状況を把握のうえ、担当職員の指示に従うこと。
- (3) 生垣の仕上がり寸法は下表を基準とし、特別な場合は担当職員の指示によるものとする。

(単位：m)

高さ	0. 6	1. 2	2. 5
幅	0. 3～0. 4	0. 5～0. 6	0. 7～0. 8

- (4) 四つ目垣等の補修・撤去等は担当職員と協議し、指示に従うこと。
- (5) 生垣の刈込みは道路周辺の作業が多いので安全対策を十分に行うこと。

5 砂場整正

- (1) 指定された箇所を指定された回数行うこと。
- (2) 掘り起こしは、スコップ、クワ等を用い、指定された厚さ（深さ 20cm を標準とする）の砂を攪拌すること。
- (3) 清掃は、攪拌した砂の中にあるゴミ・ガラスの破片等危険なもの、石、動物の糞等を念入りに除去すること。
- (4) 掘り起こした砂は、最後にレーキ等で平坦に均すこと。

6 巡視点検及び施設点検

- (1) 指定された公園内において、指定された期間内、指定された回数、各施設の巡視点検を行うこと。
- (2) 巡視点検のうち、年に 1 回（4 月～7 月下旬）は施設点検として、指定された施設（特に利用者の安全確保に支障を及ぼす恐れがあるもの）について、目視等により点検を行うこと。
施設点検については、以下の凡例を標準として、劣化や損傷の有無に関わらず担当職員に報告すること。
 - ◎：異常がなく、安全性に問題はない
 - ：劣化や損傷があるが、安全性には問題がない
 - △：劣化や損傷があり、安全性について別途確認が必要である
 - ×：劣化や損傷があり、安全性に懸念がある
- (3) 春一番の遊具冬囲い撤去の際、目視のほか遊具の各部分に力を加えゆするなどし、遊具が安全に使用できるか確認した後、開放すること。また、異常が認められた場合には直ちに使用禁止の措置を行い、担当職員に報告すること。
- (4) 担当職員の指示があったときは、指示のあった公園を巡視点検し、その結果を速やかに担当職員に報告すること。
- (5) 巡視点検及び施設点検において、施設に異常が認められた場合は、即時事故の発生・拡大等防止のための応急措置を行い、担当職員に報告すること。

- (6) 点検項目は下記のとおりとする。

点検項目	内 容
公園の汚染状況	清掃の必要性
樹木の状況	倒木、腐朽木、枯れ木、折れ枝、越境枝などの状態
遊器具類の状況	破損の状態など
外柵類の状況	破損の状態など
照明灯の状況	破損の状態（特に灯具、地際、段付部分の腐食、穴の有無の確認）、点灯状態など
給水・排水施設の状況	破損の状態、内部の堆積物の有無の確認など
その他施設の状況	破損の状態など
その他	利用の状況など

7 樹木の伐採・抜根

- (1) 周辺樹木、施設等を損傷しないよう注意すること。
- (2) 伐採は、原則として地際で切断することとし、公園利用者の支障（躓き等）とならないよう処理すること。
- (3) 伐採した樹木は枝払いし、一定の長さに切断すること。
- (4) 伐採後の根株の処理（抜根）は、担当職員の指示による。なお、抜根を行う場合は、できる限り根を残さないようにし、抜根跡の穴は埋戻して整地すること。

8 簡易水洗式トイレの設置・撤去

公園トイレ廃止後の対応として、簡易水洗式トイレを一時的に設置するものである。

- (1) 設置場所について、担当職員より指示された公園・位置に設置すること。
- (2) 日時及び期間について、担当職員より指示された日時・期間で設置すること。
- (3) 簡易水洗式トイレの仕様は、樹脂製洋式便器又は樹脂製小便器の1穴型とする。なお、用意する便器の種類については、担当職員の指示によること。
- (4) 強風時の転倒等がないよう木杭等で簡易水洗式トイレを固定するなど、安全対策について事前に担当職員と相談のうえ実施すること。なお、固定にあたっては、公園の利用に支障が出ないように注意すること。
- (5) 設置期間終了後の処理については、簡易水洗式トイレを使用できないようトラロープなどで閉鎖し、清掃、くみ取りを実施した上で、簡易水洗式トイレを撤去すること。
- (6) その他：簡易水洗式トイレの設置予定日時や公園内の設置場所に変更がある場合、当初設置予定日の2日前迄に担当職員が連絡する。新たな設置予定日時及び場所については、担当職員の指示によること。

街 路 樹 編

1 植樹樹・緑地帯清掃

植樹樹及び緑地帯等にある危険もしくは不必要なガラス、石、動物の糞、塵芥等を除去し安全、衛生に考慮すること。

- (1) 区域：指定された区域全域を行うこと。
- (2) 回数：指定された回数を行うこと。
- (3) 塵芥処理：清掃により集められた塵芥等は、本市が定めた種類ごとに分別し適切に処理すること。

2 植樹樹・緑地帯草刈

植樹樹及び緑地帯等の芝生の生育維持、美観の維持等、芝生の良好な状態を維持するために行うものである。

- (1) 区域：指定された区域全域を行うこと。
- (2) 回数：指定された回数を行うこと。
- (3) 草丈：草丈は4 cm前後に仕上げること。
- (4) 方法：樹木や株物の周辺、施設の縁については、樹木等を傷つけない方法で行うこと。
- (5) 安全対策：機械刈を行う際は、作業区域を明示するために安全施設を設置し作業すること。
また、小石などの飛散防止対策を講じること。なお、作業機械等を持ち運ぶ際は、歩行者との距離を十分に保つなど安全対策を講じること。
- (6) 草の処理：刈り取った草の処理は速やかに行い、十分に乾燥させたいえ、特に指定された場合を除き本市指定処理場に運搬し処分すること。
- (7) 樹木を傷つけた場合：樹木の根元を傷つけた場合には、保護剤などを塗布するなどの処置を施し、樹木の養生を行うこと。
- (8) その他：宿根草や球根類には、十分注意して作業すること。

3 樹木管理

- (1) 樹木剪定：実施時期・仕上がり形状については、担当職員の指示によること。
なお、街路樹の剪定については、別添「街路樹剪定技術指針」【平成28年11月みどりの推進部編】を参考にすること。
道路上作業は誘導員等による安全対策を行うこと。
- (2) 支柱補修：支柱を原形に復旧するものである。札幌市造園工事標準図に基づく。
- (3) 支柱取付：札幌市造園工事標準図に基づく。
- (4) 樹木結束：古いしゅろ縄、杉皮を取り除いて結束する。札幌市造園工事標準図に基づく。
- (5) 支柱撤去：活着し根の揺らぎの無い樹木については、支柱を撤去すること。
- (6) ヤゴ取り：樹木の地際から出る新梢は撤去すること。
- (7) 樹木下枝取り：道路の建築限界を確保するため、必要な枝の剪定を行うこと。
- (8) 生垣刈込、樹木冬囲い、低木刈込は公園編を参照すること。

- (9) 植栽：札幌市造園工事標準図に基づく。

4 花苗配布、マイタウン・マイフラワー

本市の歩道美化事業計画に基づき、地域団体に花苗や種子、セルトレイなどの助成を行う。

- (1) 本市から提供された申込書に基づき、指定する時期に各団体へ花苗等を配布すること。
- (2) 配布後、花苗等配布一覧表や花苗等納入の確認できる書類を速やかに提出すること。

5 巡視点検

- (1) 指定された路線を、指定された期間内、指定された回数、巡視点検すること。なお、巡視方法（徒歩または車両）は区特記仕様書または担当職員の指示によること。
- (2) 担当職員の指示があったときは、各路線を巡視点検し、その結果を速やかに担当職員に報告すること。
- (3) 点検中、異常が認められた場合は、即時事故の発生・拡大等防止のための応急措置を行い、担当職員に報告すること。
- (4) 点検項目は下記のとおりとする。

点検項目	内 容
樹木の状況	歩道・車道などの通行の支障状態 信号、標識などへの支障状態 倒木、腐朽木、枯れ木、折れ枝、病虫害などの状態
結束の状況	結束部がきつくなっていないか
支柱の状況	破損の状態、樹木に食い込んでいないかなど
植樹柵の状況	清掃の必要性、草刈の必要性、破損の状態など 切株・根上がり・段差により歩行者・自転車などへの通行の支障状態

6 樹木の伐採・抜根

- (1) 周辺樹木、施設等を損傷しないよう注意すること。
- (2) 伐採は、原則として地際で処理すること。ただし、ます花壇の植栽に影響がある場合や、一連作業で抜根を行う場合はこの限りではない。
- (3) (2)において、地際伐採が可能であるにもかかわらず、地上部の幹を残しかつ一連作業で抜根を行わない場合は、できるだけ速やかに抜根を実施すること。
- (4) 抜根は、できる限り根を残さないようにし、抜根跡の穴は埋戻して整地すること。
- (5) 伐採した樹木は枝払いし、一定の長さに切断すること。

図 面

1 外柵設置図

1-1 鋼製外柵設置 (W=3.0m)

1-2 鋼製外柵設置 (W=2.0m)

1-3 鋼製外柵設置 (W=1.5m)

2 樹木冬囲い図

2-1 冬囲いA

2-2 冬囲いB

2-3 冬囲いC

2-4 冬囲いD、E、F

2-5 冬囲いG

2-6 冬囲いH

2-7 冬囲いI

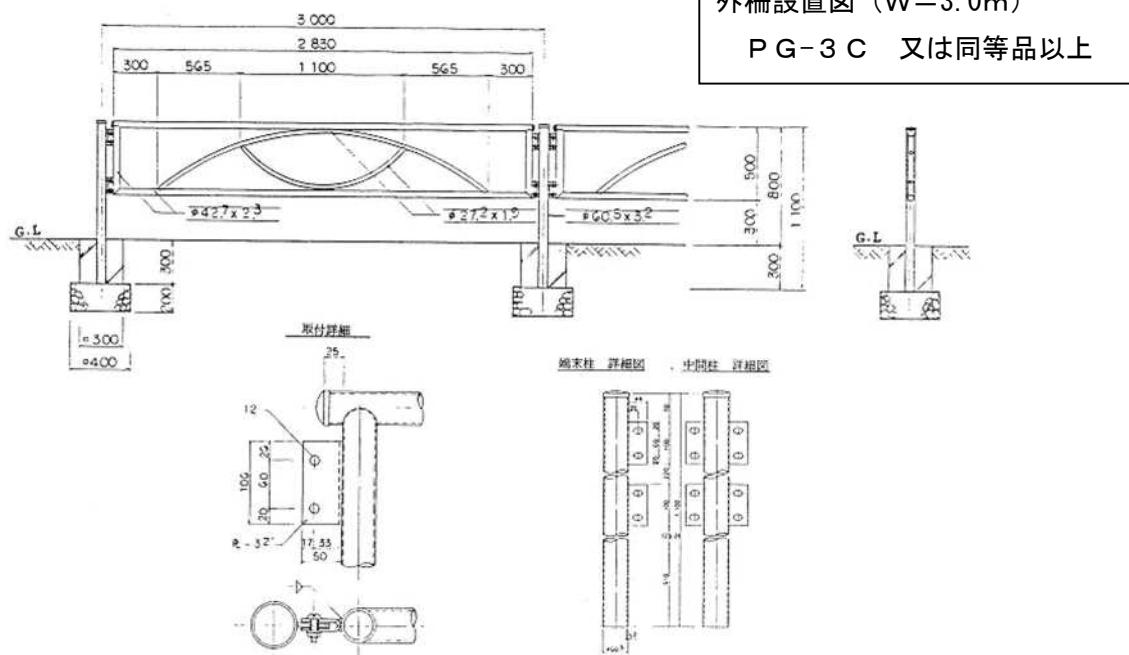
2-8 冬囲いJ

3 施設冬囲い図

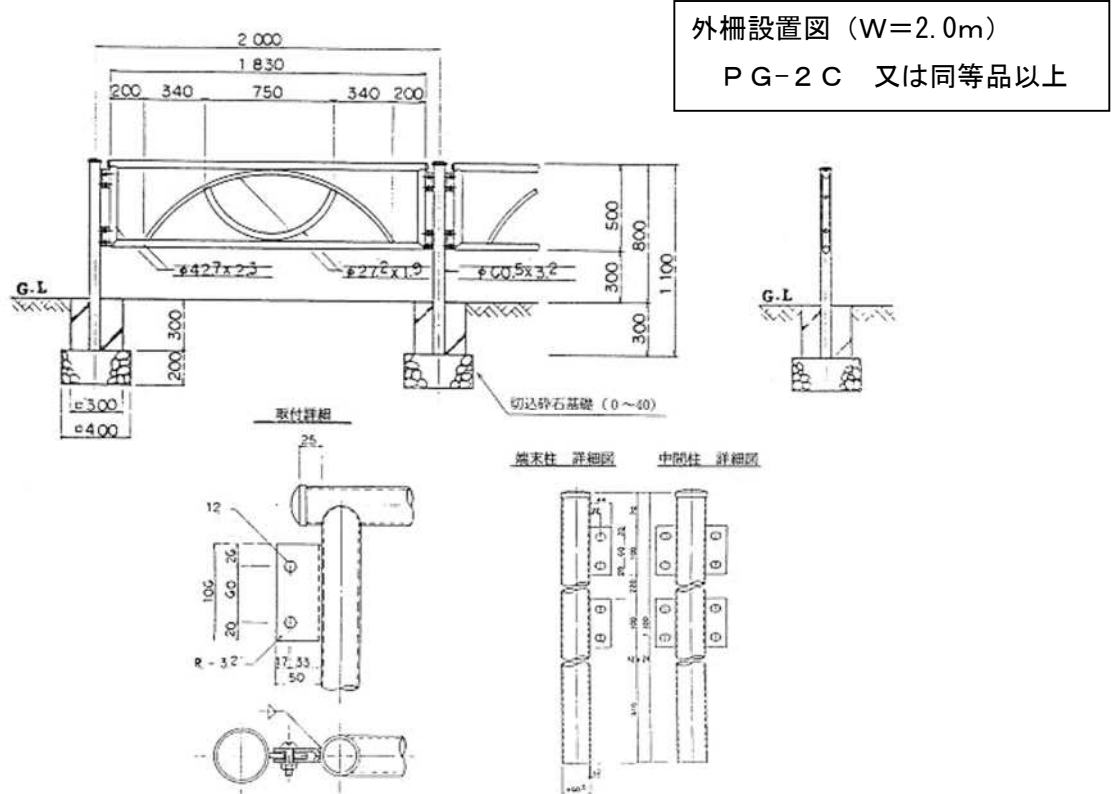
3-1 鉄棒冬囲い (イメージ図)

1 外柵設置図

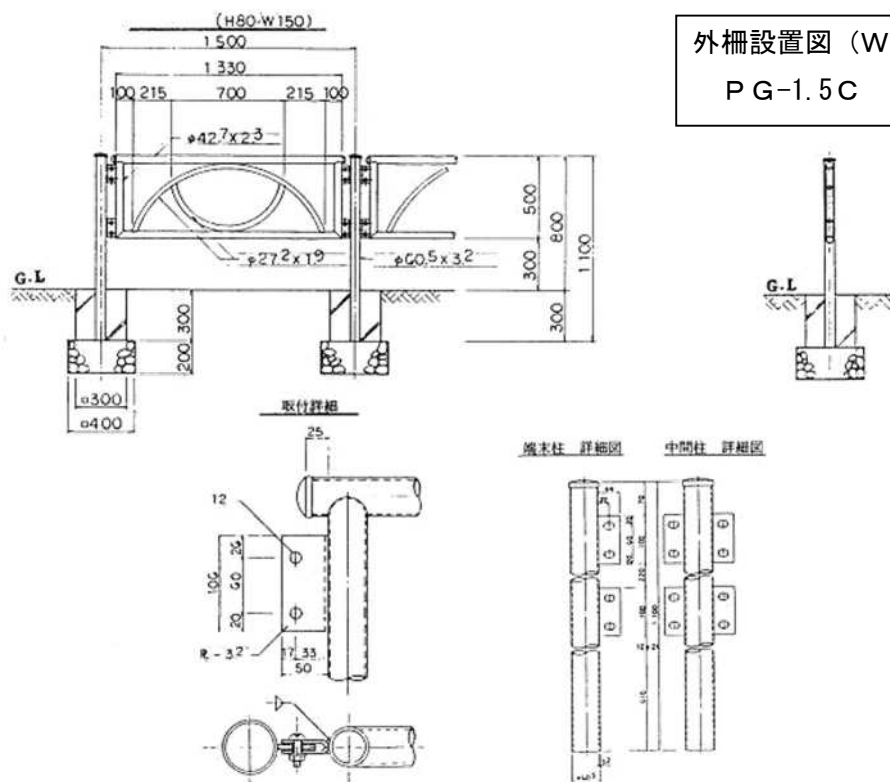
1-1 鋼製外柵設置 (W=3.0m)



1-2 鋼製外柵設置 (W=2.0m)



1-3 鋼製外柵設置 (W=1.5m)



外柵設置図 (W=1.5m)

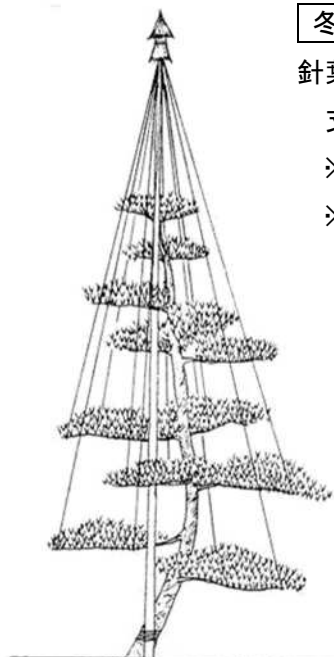
P G-1.5 C 又は同等品以上

端柱 詳細図

中間柱 詳細図

2 樹木冬囲い図

2-1 冬囲いA



冬 囲 い A

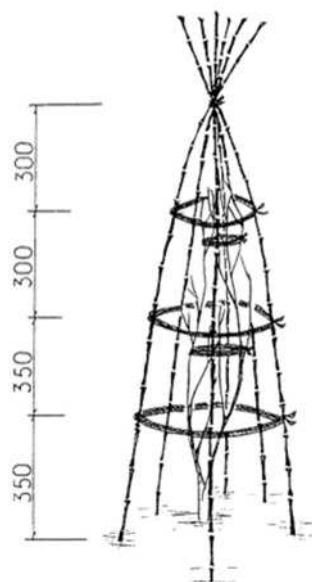
針葉樹 H=4.0m (支柱丸太 1 本つり物)

支柱丸太 L=6.3m 末口 3cm

※下縄本数は、樹形によって異なる。

※使用縄(径 7.5mm)量は、2.5kg とする。

2-2 冬囲いB



冬 囲 い B

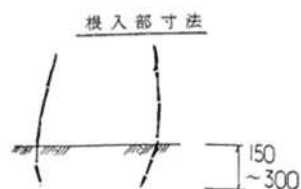
低木 H=1.2m W=0.8m (根曲竹 6 本使用)

根曲竹 L=1.8m

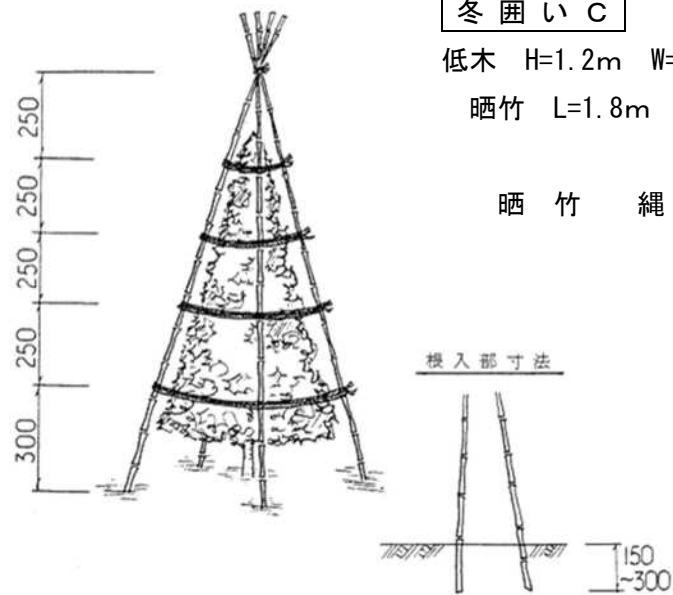
枝しおり 縄 2 重巻 2 ヶ所結束

根曲竹 縄 2 重巻 4 ヶ所結束

※根曲竹が入手できない場合、女竹を使用することも可とする。



2-3 冬囲いC



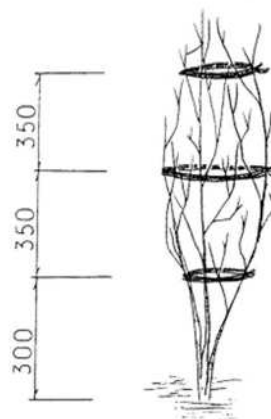
冬囲いC

低木 H=1.2m W=0.8m (晒竹4本使用)

晒竹 L=1.8m 末口 3cm

晒竹 縄2重巻 5ヶ所結束

2-4 冬囲いD、E、F



冬囲いD

低木 H=0.6m W=0.3m (縄しばり)

縄2重巻 1ヶ所結束 結束箇所は図参考

冬囲いE

低木 H=0.9m W=0.5m (縄しばり)

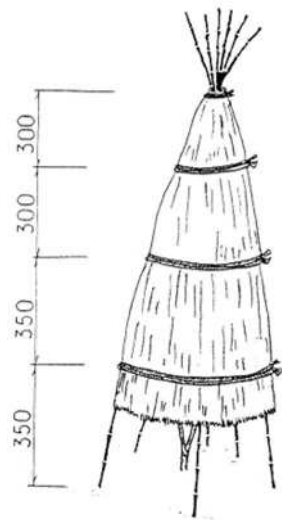
縄2重巻 2ヶ所結束 結束箇所は図参考

冬囲いF

低木 H=1.2m W=0.8m (縄しばり)

縄2重巻 3ヶ所結束 結束箇所は図参考

2-5 冬囲いG



冬 囲 い G (冬囲いB+むしろ掛け)

低木 H=1.2m W=0.8m (根曲竹・むしろ使用)

根曲竹 6本、むしろ 1枚 使用

根曲竹 L=1.8m

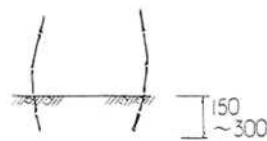
枝しおり 縄2重巻 2ヶ所結束

根曲竹 縄2重巻 4ヶ所結束

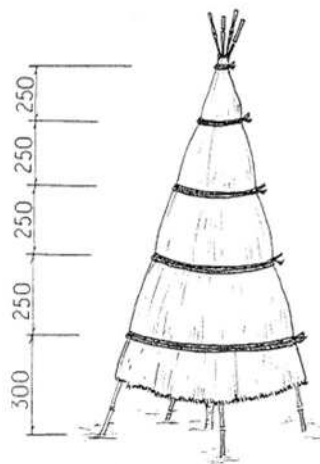
むしろ 縄2重巻 4ヶ所結束

※根曲竹が入手できない場合、女竹を使用することも可とする。

根 入 部 寸 法



2-6 冬囲いH



冬 囲 い H (冬囲いC+むしろ掛け)

低木 H=1.2m W=0.8m (晒竹・むしろ使用)

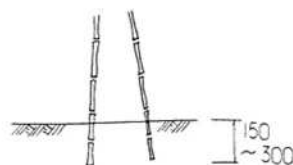
晒竹 4本、むしろ 1枚 使用

晒竹 L=1.8m 末口3cm

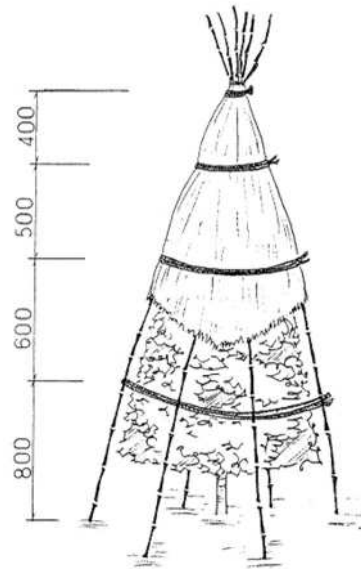
晒 竹 縄2重巻 5ヶ所結束

むしろ 縄2重巻 5ヶ所結束

根 入 部 寸 法



2-7 冬囲い I



冬 囲 い I

低木 H=2.0m程度 W=1.0m程度

(根曲竹・むしろ使用)

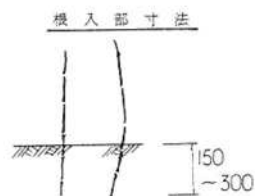
根曲竹 6本、むしろ 2枚 使用

根曲竹 L=2.7m

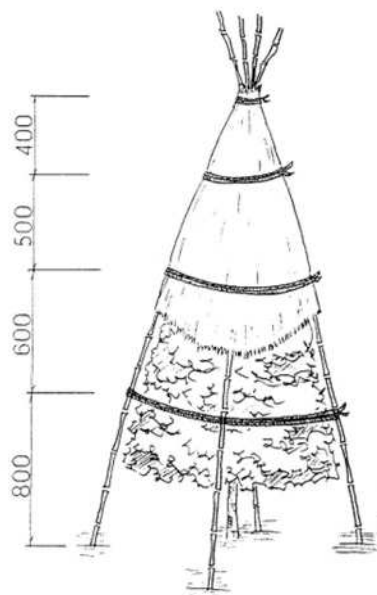
根曲竹 縄2重巻 4ヶ所結束

むしろ 縄2重巻 3ヶ所結束

※根曲竹が入手できない場合、女竹を使用することとする。



2-8 冬囲い J



冬 囲 い J

低木 H=2.0m程度 W=1.0m程度

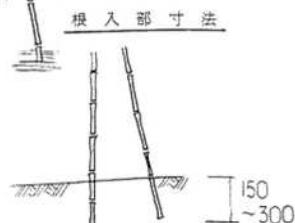
(晒竹・むしろ使用)

晒竹 4本、むしろ 2枚 使用

晒竹 L=3.9m 末口 3cm

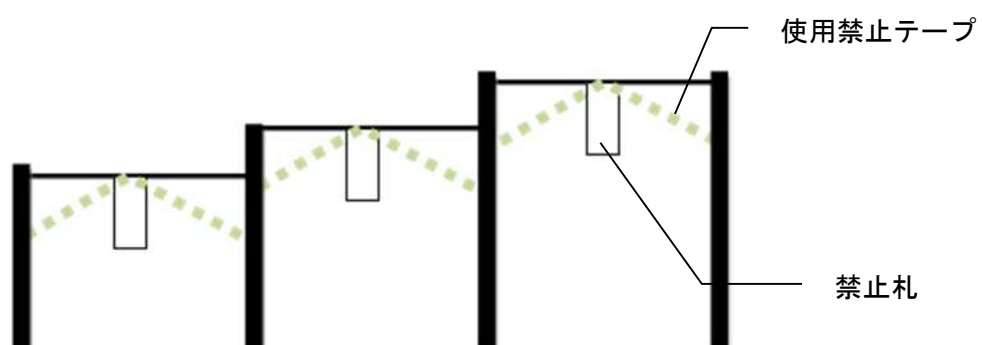
晒 竹 縄2重巻 4ヶ所結束

むしろ 縄2重巻 3ヶ所結束



3 施設冬囲い図

3-1 鉄棒冬囲い（イメージ図）



別紙 1

総合維持管理業務 写真管理基準 【公園】

項 目	詳 細	撮 影 項 目	提出頻度（場所）	提出頻度（回数）	備 考
清掃	一般清掃（拾い集め型）	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	5 公園毎に 1 ヲ所	5 回毎	
	春 1 回目清掃	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	5 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
	秋落ち葉清掃	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	5 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
	水施設清掃	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	全 ヲ所	毎回	
植物管理	草刈	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	5 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
	生垣刈り込み	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	10 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
	高木剪定	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	10 本毎に 1 ヲ所	毎回	
	寄植え刈り込み	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	10 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
	樹木薬剤散布	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	10 本毎に 1 ヲ所	毎回	
		薬剤混入及び攪拌状況	1 作業毎	毎回	
	樹木冬囲い設置, 撤去	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	10 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
施設管理	施設類冬囲い設置, 撤去	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	10 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
	グラウンド等整正	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	全 ヲ所	2 回毎	
	砂場かきおこし（砂補給）	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	10 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
		厚さ	10 公園毎に 1 ヲ所	毎回	
その他	巡視・点検	発見した異常個所, 危険個所	各所	適宜	点検報告書の提出

○上記の基準は標準とし, 必要に応じて適宜変更できるものとする。

○上記にない項目については, 実情に応じて別に適宜定めるものとする。

○清掃, 草刈については, 年間を通じ同一公園を撮影することのないものとする。

別紙 1

総合維持管理業務 写真管理基準 【街路樹】

項 目	詳 細	撮 影 項 目	提出頻度（場所）	提出頻度（回数）	備 考
一般管理	清掃（柵・分離帯・緑地）	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	草刈（柵・分離帯・緑地）	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	除草（草取り）	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	樹木剪定・整枝	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	街路樹 50 本に 1 カ所	毎回	
	ヤゴ取り	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	街路樹 50 本に 1 カ所	毎回	
	下枝取り	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	街路樹 50 本に 1 カ所	毎回	
	寄植刈込み	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	生垣刈込み	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	低木刈込み	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	冬囲い	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎 50 組に 1 カ所	毎回	
	支柱補修	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎 50 組に 1 カ所	毎回	
	支柱撤去	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎 50 組に 1 カ所	毎回	
	支柱結束	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎 50 組に 1 カ所	毎回	
	花苗植え	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	球根植込み	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	灌水	作業状況（作業中）	路線毎に 1 カ所	毎回	
	伐採・抜根 （樹種配置の改善）	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	路線毎に 1 カ所	毎回	路線廃止・樹種更新（植替）など
	伐採・抜根（その他）	作業状況（作業前, 作業中, 作業後）	適宜	毎回	枯損木の伐採など
その他	巡視・点検	発見した異常箇所, 危険箇所	各所	適宜	点検報告書の提出

○上記の基準は標準とし、必要に応じて適宜変更できるものとする。

○上記にない項目については、実情に応じて別に適宜定めるものとする。

○作業状況がわかるよう全景写真の撮影に努めること。

令和 7 年度

豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務特記仕様書(豊平北地区)

I 総則

1. 適用範囲

本特記仕様書は、豊平区内公園街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)に適用する。なお、街路樹の維持管理においては、路線番号 42 白石中の島線、84 豊平月寒2条線、101 美園月寒裏通線及び、9619 白石連絡線について豊平南地区のエリアも含むものとする。

2. 安全管理

- (1) 道路上での作業は、適切に保安施設や交通誘導員を配置し、事故等が起こらないように十分注意して行うこと。
- (2) 現場状況等により交通誘導員に増減が生じた場合は担当職員と協議すること。なお、交通誘導員配置の報告書等を担当職員に提出すること。
- (3) チェーンソーによる伐木作業等を行う場合、法令により、防護ズボン、チャップス等の下肢の切創防止用保護衣を着用すること。また、切創防止用保護衣の保有数を、業務計画書に記載すること。
- (4) 高さ 6.75mを超える場所で墜落の危険がある場合は、法令により、フルハーネス型墜落制止用器具を使用すること。

3. 指示事項について

担当職員から指示は緊急の場合を除きすべて代表会社への連絡とする、各構成会社への連絡調整等は代表会社が責任をもっておこなうこと。

4. JV 会議について

期毎に 1 回土木センター会議室において区内各地区 JV が参加する連絡調整会議をおこなうこと。
ただし状況によってはこの限りではない。

5. 出来形管理

- (1) 仕様書において数値が明記されている項目について、数値が確認できるよう写真に記録し担当職員に提出すること。 ※1項目につき1枚以上
- (2) 剪定作業をおこなう場合、樹木ごとに幹周の分かる写真を記録すること。
10～30本/2か所, 31～50本/3か所, 51本以上/4か所

Ⅱ 公園編

1. 一般

(1) みどりあふれる潤いのあるまちづくりのため

- ① 「札幌市みどりの基本計画」に基づき、公園緑地や道路の緑が地域の緑と一体となって、**緑あふれる潤いのある街**となるよう努めなければならない。
- ② 公園緑地・街路樹や公園内の諸施設において、それぞれがもつ**機能や主旨を十分に発揮**できるように努めなければならない。
- ③ 管理瑕疵が問われる**事故の防止**に努めなければならない。
- ④ 利用者及び周辺住民に不快感を与えないように、常に**美観・景観の保全**に努めなければならない。
- ⑤ 公園が**周辺住民の迷惑施設とならないよう、その配慮や負担要因の軽減**に努めなければならない。
- ⑥ 「福祉のまちづくり」要綱に基づき、日常の管理及び施設の維持補修や改修時には、**だれにもやさしい施設づくり**に努めなければならない。
- ⑦ 公園・緑地の維持管理において、**造成計画の意図を勘案しつつ、地域住民の時代の要望に即して随時変革を検討**することに努めなければならない。

(2) 公園の夏季利用期間

公園の夏季利用期間は、4月29日から11月3日までを基本とする。

2. 公園巡視点検

(1) 実施回数・実施期間

夏季巡視：町内会委託管理の公園について、4月～11月の期間月に1回以上の頻度で巡視すること。

(年8回)

冬季巡視：町内会委託管理公園および業者委託管理公園について、3月及び12月～翌年2月の期間、月に1回以上の頻度で巡視すること(年4回)。ただし、12月に行う巡視は、夜間巡視とする。

(2) 実施作業方法

- ① 遊具、外柵等施設破損の有無確認を行い、破損状況により応急措置等の事故防止措置をとるとともに、担当職員へ報告すること。
- ② 土系広場や芝生広場の凹凸状況確認および樹木(主に高木)の枝折れ、公園利用の支障となるような胴ぶき(ニセアカシア等)の確認を行い、状況による応急措置等の事故防止措置(ニセアカシア等棘のあるものは、接触の恐れがあるものを発見した場合は、至急除去することとする。)をとるとともに、担当職員へ報告すること。
- ③ 発見した放置自転車は、青札を貼り、3日以上経過後も放置されていた場合は、北郷自転車保管場所(白石区北郷1条1丁目)に撤収することとする。なお、原則として担当職員の判断により撤去するものであるため、青札の貼付後、撤去までの間に職員自身が現地を確認すること

とするが、困難な場合は写真提出によって対応することとする。また、廃棄せず保管する場合は、告示書を放置場所付近に掲示すること。

④

家

電製品、タイヤ等不法投棄物については、担当職員の指示により回収することとする。

- ⑤ 12 月に行う夜間巡視では、公園内の照明灯が点灯しているかどうかを確認し、不点があれば担当職員に報告すること。

(3)施設点検シートへの記録(夏季 1 回、冬季 1 回)

各公園の巡視結果は施設点検シート(夏季:様式Ⅰ、冬季:様式Ⅱ)に記載し担当職員に提出すること。なお、夏季の施設点検については、5 月末までに実施すること。

3. 夏季利用期間開始前の期首作業

(1)目的

冬期管理から夏期管理への移行にあたり、夏期期間の利用に即した公園形態の確保並びに諸施設の機能の保全、美観景観の保全を図るため、それに必要な作業を実施する。

(2)実施時期 夏季利用開始前までに完了すること。(4 月 28 日まで)

(3)実施作業

① 清掃 B

ア) 越年の落ち葉の収集が含まれることから、熊手、レーキ等による拾い集め型により清掃を行うこと。
(年 1 回)

イ) 遊具等の公園施設についても、鉄棒のさび取りや滑り台の滑走面およびブランコの座板の布拭きなどを行うこと。

ウ) 水飲み台は、利用者の不潔感解消のため、飲み口周辺部をブラシまたはタワシ等でこすり落とし、水洗いすること。

② 冬囲い撤去(樹木冬囲い撤去 A~J、水飲み台冬囲い撤去 B・C、シーソー、ブランコ、鉄棒)

ア) 樹木、水飲み台、シーソー、ブランコ、鉄棒の冬囲いを撤去し、本来あるべき姿に復元すること。

③ U 字側溝清掃泥上げ

ア) 降雨時の排水に支障がないように U 字側溝等の泥上げを行うこと。

イ) 柵は、異物を撤去し、管底が確認できる状態を最低限確保することとする。

④ 公園巡視点検

Ⅱ-2-(2)による。

4. 清掃(清掃 A)

(1)実施回数・実施期間

4月～11月の期間内、2週間に1回の頻度で実施する(年14回)。なお、ゴミの散乱等、美観景観や環境衛生上問題が生じた場合は随時実施することとする。

(2) 実施作業方法

- ① ゴミの清掃は拾い集め型を主体に行い、主に下記のを除去すること。
 - ア) ガラスの破片等、けが等の事故を誘発するもの。
 - イ) 石等、草刈時の飛散事故等の原因となるもの。
 - ウ) 空き缶・紙屑等、美観景観を損なうもの。
 - エ) 公園外から持ち込まれた、公園事業で備えた施設や物品以外のもの。
 - オ) 犬糞等、衛生上問題のあるもの。
- ② 砂場清掃は、表面に見える異物や犬猫の糞等を除去し、利用に支障のないように処置すること。

(3) 実施にあたっての配慮事項

- ① 公園内は、美観景観、事故防止、衛生の確保に配慮して実施すること。
- ② 公園内周辺部は、道路利用者や隣接住民に不快感を与えないように、美観景観の確保に努め実施すること。
- ③ 公園外周辺部は、明らかに公園から飛散したと思われ、かつ住民の負担になる状況のごみ等(落葉は除く)は、処理することを基本とし、その作業にあたっては、民有地に立ち入ることを十分配慮して実施することとする。

(4) 出来形管理

作業の出来形管理は、美観景観の保全が確保された状況とする。その程度は過度に求めるものではなく、世間一般常識的な視点や観点に基づくものとする。

5. 草刈(草刈A～Q)、除草(除草A～C)

(1) 実施回数

草刈りは、業者管理対象公園において年3回とする。除草は、数量調書に記載の公園において指定回数をを行うこと。

(2) 実施時期

- ① 1回目の草刈りは、当年度の気象状況を考慮しながら、開花前までに完了すること。(5月下旬から6月上旬頃まで)
- ② 2回目の草刈りは、7月中旬から下旬(7月15日～7月31日)をめどに実施すること。なお、小学生の夏休みやお盆時期には町内会において各種行事が行われることから、これらがスムーズに行われるように実施すること。
- ③ 3回目の草刈りは、9月下旬から10月上旬をめどに行う事。
- ④ 除草の実施時期は、基本的に草刈実施時期と同時期とするが、除草の回数によって時期を変更することもあるため、時期については担当職員と協議のうえ実施すること。

(3) 実施作業方法

- ① 草刈は、ロータリーモアや刈り払い機を使用し、場所によっては手刈りを併用して、刈り残しのないように、全体的に草丈 4 センチ程度をめどに作業を行うこと。
- ② 外柵石や樹木などの施設周辺は手刈りで実施すること。
- ③ 実生や自然発生した幼樹は、幹が木質化していなければ、草刈り時に刈払うこと。
- ④ 草刈後は、集草搬出を行うこと。草刈後すぐに集草しない場合は、刈り草が飛散しないような措置を講ずること。

(4) 実施にあたっての配慮事項

- ① 芝生広場の様々な利用者に配慮すること。(特に幼児や児童)
- ② 砂塵防止対応のため、施工時の地盤状況及び気象状況と周辺環境を勘案して、実施時期を決定すること。
- ③ 飛散事故を起こさないように、小石等は極力撤去すること。また、草刈り時は防護シート等により草刈り機周辺を防護するなど、工夫して作業を行う事。なお、草刈作業時公園周辺に自動車が停車している場合は、自動車周辺の草刈りを一時取りやめるなど、小石飛散事故が起こらないように十分に配慮すること。
- ④ 事故防止や騒音防止のため機械類の点検整備を実施すること。
- ⑤ 作業時には周辺の公園利用者の誘導を行うこと。
- ⑥ 町内会への管理委託公園において、担当職員からの指示があった場合は、草刈・清掃作業により発生した刈草等を市の指定する処理場へ搬入すること。

(5) 出来形管理

作業の出来形管理は、美観景観の保全が確保された状況とする。その程度は過度に求めるものではなく、世間一般常識的な視点や観点に基づくものとする。

6. 樹木

(1) 剪定A～H(高木)

① 目的

樹木の整姿・剪定の目的は下記のとおりとし、その目的を十分に把握し作業を行う事。

- ア)徒長枝・逆枝・立枝等の枝処理など、樹木保護育成のため。
- イ)庭園樹としての景観形成のため。
- ウ)民家の窓辺からの景観保全のため。
- エ)日照権を侵害している樹木の樹冠調整。
- オ)民地境界線にある樹木で民地へ越境している樹木の樹冠調整および枝処理。
- カ)園内照明や園内施設及び利用者の支障となる樹木の樹冠調整および枝処理。
- キ)道路建築限界を侵している樹木の樹冠調整および枝処理。

ク)道路標識等の道路付帯物の効果を損なう樹木の樹冠調整および枝処理。

② 実施本数

対象公園及び実施本数については、担当職員の指示によること。

③ 実施時期

対象樹木の特性を十分考慮し、落葉樹の冬季剪定については、落葉後から1月下旬を基本とする。ただし、切り口から樹液が落ちる場合は中止を検討することとする。

(2) 伐採A～I(高木)

① 実施本数

伐採対象木については、担当職員の指示によること。

② 実施時期

枯死木や腐朽等により倒木の怖れがある樹木については、周辺の状況(民地に接しているかどうか等)を考慮し、直ちに伐採すること。その他の樹木については具体的な実施時期は、担当職員の指示によること。

(3) 下枝取り(高木)

① 実施本数

別紙数量調書に記載されている公園において、公園利用上支障となる樹木や、公園外周にある樹木で道路標識等を覆っている樹木を対象に下枝取りを適宜行なうこと。実施した数量について、後日担当職員へ報告すること。

② 実施時期

上記①に記載した状態が見受けられる場合、適宜行うこと。具体的な実施時期は、担当職員の指示による。

(4) 胴ぶき・ひこばえとり

① 胴吹き・ひこばえ取りは、樹木の健全な育成のために、適宜おこなうこととする。実施した数量について、後日担当職員へ報告すること。

(5) 生垣刈込A(低木)

① 実施数・実施回数

別添数量調書に記載している公園において、広葉樹は年2回生垣の刈り込みを行うこと。
針葉樹は年1回の生垣の刈込を行うこと。

② 実施時期

ア) 1回目は6月頃に行うこと。(針葉樹は6月～9月上旬)
イ) 2回目は9月頃に行うこと。

③ 実施作業方法

生垣の仕上がりは、高さ・幅を一定にそろえ、美観を損なわないように実施すること。

(6) 病虫害の防除・駆除(薬剤カプセル打ち込み)

① 実施回数

病害虫に関する苦情・要望および通常の巡視点検により発見された病害虫について、公園利用上支障となるもの等について、適宜打ち込みを行うこと。打ち込み本数については、その都度担当職員に文書により報告すること。

② 実施時期

担当職員の指示による。

(7) 支柱取付・支柱撤去

① 実施箇所・回数・時期

通常の巡視点検により発見された破損した支柱について、撤去・取り付けを行なうこと。実施した数量について、後日担当職員へ報告すること。

7. 砂場

(1) 砂場整正

① 実施回数・実施時期

実施回数は、砂場のある全公園において、年1回とする。実施時期は、5月中旬までにおこなうこととする。

② 実施作業方法

団結した砂を20cm程度掻き起こし、砂場表面の不陸整正をおこなうこと。

(2) 砂場砂補充

① 実施回数・実施時期

別紙数量調書に記載の公園において、年1回とする。実施時期は、5月中旬までに行うこと。

② 実施作業方法

砂場の天端から10cmさがりで行うこと。

8. 照明灯

(1) 不点調査

担当職員の指示により適宜行うこと。

(2) ランプ交換

担当職員の指示により適宜行うこと。

9. 夏季利用期間終了後の期首作業

(1) 実施時期

夏季利用期間終了後、当年度の天候や利用状況を勘案のうえ、概ね11月下旬までを目処に行うこと。

(2) 実施作業

① 清掃 C

ア) 当年度の落ち葉を掃き掃除により収集すること。

イ) 落ち葉時期および、葉が落ちきった時期に行うこと。(年 2 回)

② 冬囲い設置(樹木冬囲い設置 A~J、水飲み台冬囲い設置 B・C、シーソー、ブランコ、鉄棒、ターザンロープ)

ア) 樹木冬囲い設置は、夏季利用期間終了後で紅葉の後に行うこと。仕様は「札幌市公園及び街路樹総合維持管理業務仕様書樹木冬囲い図」による。

イ) 水飲み台は、縄とムシロを使用し、ムシロー重のコモ掛けにする。

ウ) 鉄棒は、札幌市が支給する使用禁止テープおよび貼り札により冬囲いすること。

エ) ブランコは、ムシロやブルーシート等の緩衝材で梁部を養生した上で着座部を固定すること。

オ) シーソーは、旧式のものについては、着座部を外してブルーシート等で養生した上で、脚部に固定すること。新式のものについては、着座部を外さず、ブルーシート等で養生し、着座部が動かないように固定すること。

10. カラス・ハチの巣撤去

「札幌市公園及び街路樹総合維持管理業務仕様書」による。

11. 遊水路

(1) 実施対象公園・遊水路開放期間

① 実施対象公園

ア) Bランク施設:ライラック公園

② 開放期間:7月上旬~8月下旬(担当職員の指示による)、利用時間:9時~17時

(2) 実施作業

① 事前作業及び注意事項

・春の清掃終了後に遊水設備等の点検を行うこと。運転開始までに修繕が必要な場合を考慮し、すみやかに実施することとし、点検後異常があった場合は、担当職員に報告すること。

・稼働開始 2 週間前までに、開放期間と使用時間等のお知らせを掲示すること。また、稼働終了 1 週間前に終了のお知らせを掲示すること。

・条例等で定められてはいないが、衛生管理上、ペットなどの動物は利用できないものとする。

② 巡視・点検

ア) 実施回数

ライラック公園において、午前・午後各 1 回ずつ巡視・点検を行うこと。

イ) 実施作業

・水量調整、水質確保、施設の点検を行うこと。

- ・毎日行う清掃作業は、施設の安全・衛生の確保を目的に行う。利用開始時間前にガラス破片等危険物や犬糞等の汚物を除去すること。
- ・残留塩素濃度を基準値に保つ為、午前・午後各1回の点検の際、濃度を確認し、適宜塩素剤を補充すること。
- ・水量調整作業は、利用時間終了後に循環ポンプを停止し、利用時間前に水道水を補給しながら循環ポンプを稼働させ、水量を調整すること。

③ 遊水路清掃

ア) 実施回数

ライラック公園において、週1回程度以上清掃を行うこと。

イ) 実施作業

- ・週1回行う清掃は、ブラシがけにより行うこととし、清掃日の告知や、繁忙時間帯を避けた作業時間帯をするなど、利用者へ配慮すること。

12. 修景池(噴水巡視点検)

水車町公園の噴水施設は故障のため、巡視及び清掃作業は不要

13. その他

(1) 水飲み台

① 水飲み台蛇口取り換え

巡視・点検等において発見した破損している水飲み台の蛇口について、適宜取り換えること。蛇口は支給品とする。

Ⅲ 街路樹編

1. 一般

(1) 植栽基準

①歩道上の街路樹は、「道路構造令」、「道路緑化技術基準」、札幌市宅地開発要綱の規程による「街路樹植栽基準」(平成 23 年 8 月 1 日一部改正)及び「街路樹剪定技術指針」【平成 28 年 11 月みどりの推進部編】を基準に下記の点に留意して行うこととする。

ア)植栽間隔は8mを標準とする。ただし、植栽計画及び実施においては、10m を基本に、最低 6m で行うこととする。

イ)信号機のある交差点手前の植栽位置は、交差点巻きこみ変形縁石の開始位置から、10m 以内には植栽しないこととする。

ウ)交差点通過後は、交差点を渡って曲線最終点より 8m以内には植栽しないこととする。

エ)植栽場所は原則として幅員 3.5m以上の歩道を対象とする。

オ)既設の幅員 3.5m未満の生活道路の歩道に植栽されている街路樹は、日常管理に十分に配慮して可能な限り保護育成に努めることとする。

カ)信号機及び道路規制標識等の視認距離の確保については、30m手前で確認できるよう維持管理することを基本とする。

(2) 危険木処理

①枯損木及び樹木の腐朽による倒木の恐れのある樹木は担当職員と協議の上速やかに伐採することとする。根株は、伐根又は地際処理とする。抜根については、担当職員の指示によることとする。

2. 街路樹巡視点検

(1) 実施回数・実施時期

4 月～翌年 3 月の期間、2 月に 1 回以上往復で各路線 6 回実施すること。実施路線は数量調書によることとする。

(2) 実施作業

「札幌市公園及び街路樹等総合維持管理業務仕様書」による。

3. 植樹柵・中央分離帯等管理

(1) 清掃

①実施回数・実施時期

4 月～11 月の期間に 3 回実施すること。作業は、草刈の実施時期に合わせて行うこととする。

②実施作業

「札幌市公園及び街路樹総合維持管理業務仕様書」による。

(2) 草刈、除草((草刈、L)、除草(除草A～C))

①実施回数

4月～11月の期間に草丈の状況に応じて2回を基本とし実施すること。

②実施作業

「札幌市公園及び街路樹総合維持管理業務仕様書」による。

(3) 歩道美化事業(柵花壇用花苗配布)

①本事業は「とよひら HANA-LAND 事業」と一体となって行うこと。

②花苗の種類については、あらかじめ設定することとする。

③取りまとめは豊平区市民部地域振興課(以下「地域振興課」という。)で行うこととする。

④配布先については、町内会及びこれらに類する団体とする。

⑤花苗配布特記使用書及び「札幌市公園及び街路樹等総合維持管理業務仕様書」によることとする。

<花苗配布について>

1) 花苗の配布にあたっては、地域振興課の指示に従うこと。詳細については、別途、地域振興課担当者から指示するものとする。

2) 地元の花苗の植花時期の一週間前までには、地元担当者に連絡すること。

3) 地元担当者と連絡した際には以下のことを確認すること。

①配達日

②配達場所

③花苗の種類

④花苗の色数

⑤花苗の株数

⑥業者連絡先(携帯電話等)

⑦その他必要な事項

4) 地元担当者と確認した際に、当初の申請内容と差異が生じた際には、速やかに札幌市に報告すること。

5) 配布する花苗の状態は七分咲きの生育が良いものとする。

4. 樹木管理

(1) 街路樹支柱管理

①支柱取付

ア) 支柱の無い植樹柵への補植時又は支柱が著しく損傷した場合には、支柱を取り付けることとする。

イ) 支柱は焼丸太支柱を基本とする。

②支柱撤去

ア)支柱は根張り状態に応じ、随時撤去することとする。ただし、ニセアカシア、シダレヤナギ、及びプラタナスについては、目通周 $C=60\text{cm}$ を目途に撤去・取り外しを検討する。

イ)作業は7月末までに完了することとする。

ウ)ナナカマド及びネグンドカエデについては、傾斜樹木が見受けられることから、特に留意して見定めること。

③支柱補修

ア)美観を損なう破損支柱の補修作業は5月31日までに完了することとする。

イ)美観上支障のない支柱の補修は、7月末までに完了することとする。

④支柱結束(支柱結束A)

ア)作業は7月末までに完了することとする。

(2) 夏季剪定

①目的

夏季剪定は、夏季間に緑豊かな景観を確保するため、必要最小限にとどめることとする。また、ニセアカシア、シダレヤナギ、及びネグンドカエデの3種については、強風による幹折れ防止のため、下記実施作業のうち(キ)及び(ク)の作業を加えて行うこととする。

②実施作業

ア)歩車道の道路建築限界の確保。

イ)信号機・標識類の30m手前からの視認の確保

ウ)民有地建築線の侵害枝の切り詰め

エ)建物や看板等民有施設への接触枝の切り詰め

オ)道路照明灯の効果の確保

カ)トランスへの接触枝の切り詰め

キ)倒木防止のための枝抜き(上記3樹種のみ)

ク)樹冠を整えるための、70%切り詰め(上記3樹種のみ)

(3) 冬季剪定

①目的

夏季間において、その道路携帯にふさわしい統一された美しい景観を形成させるために、樹姿の調整及び樹冠の骨格調整のために行うものである。

②実施時期

落葉後の12月～2月までの間に完了すること。ただし、プラタナスに関しては落葉前の10月半ばまでに完了すること。

③樹種別実施年次

冬季剪定の樹種別実施年次の目途は次のとおりとする。ただし、幼木については適切な時期に

逐次骨格調整を行うこととする。ただし、下記(イ)、(ウ)に該当する樹木の剪定については、数量調書を参考に担当職員と協議の上実施することとする。

ア)毎年実施樹種：ニセアカシア、プラタナス、シダレヤナギ、ネグンドカエデ

イ)3年ごとに実施する樹種：イチヨウ、エンジュ、シンジュ、コブシ及び3年枝以上の剪定が困難なサクラ、ナナカマド

ウ)5年ごとに実施する樹種：上記以外の樹種

④作業注意事項

ア)夏季の枝の伸長により、民有地への侵害、民間施設との接触、街路照明灯の障害及び道路建築限界への侵害の防止に留意して実施することとする。

イ)街路樹は、「道路緑化技術基準」による、自然相似形仕立てで行うこととする。

ウ)芯とめは、路線ごとに決定される樹高に到達するまでは、樹冠の乱れ防止のため、絶対に行ってはならない。ただし、ニセアカシア、イチヨウ等芯の再生が可能な樹種によっては、担当職員と協議の上、芯とめ調整をすることができる。

エ)樹幹は道路建築限界内においてすべて単幹にすることとし、将来主幹が歪曲により植樹幅からでないように管理していかなければならない。

オ)切り詰め剪定は、原則として行ってはならない。

カ)歩道側の建築限界の2.5mを遵守し、樹姿の形成及び歩道除雪の問題から4.0mを基本に行うこととする。

キ)車道の建築限界は4.5mとする。

ク)民有地建築線から1.5mはなすこととする。

⑤幼木管理

ア)幼木(骨格枝の形成が未整備な樹木)は、成長に合わせ、ちから枝を徐々に上げていくこととする。

イ)幼木の時期は、骨格形成に重要な時期であるので、適切な時期に整姿剪定を行うこととする。

(4) 病虫害の防除・駆除(薬剤カプセル打ち込みB)

Ⅱ-6-(6)に準ずる。

(5) 街路樹補植

①実施時期

街路樹の補植は、担当職員と協議の上、伐採・抜根後随時速やかに行うこととし、長期間の空き枿状態にはしないこととする。ただし、次の項目についてはこの限りではない。

ア)植栽不適期(夏季)における植樹

イ)植花されているもの

②実施作業方法

ア)作業にあたっては、Ⅲ-1-(1)の事項に留意すること。

イ)補植する樹木の規格については、樹高3m以上及び幹周15cm以上の樹木を基本とする。

ウ)植栽樹木は、垂直樹幹の単幹で芯のあるものとする。

エ)支柱は焼丸太支柱を基本とし、Ⅲ－４－(１)の内容を考慮し設置することとする。

オ)低木の補植については、道路の景観を勘案し、担当職員と協議の上行うこととする。

(6) 胴ぶき・ひこばえとり

①実施時期

胴ぶき・ひこばえとりは、植樹柵等清掃草刈り及び巡視作業に合わせて実施することとする。

②実施作業

ニセアカシアは、こぶの形成防止のため、可能な限り道具を使用せず、手で行うこととする。

(7) カラス・ハチの巣撤去

「札幌市公園及び街路樹総合維持管理業務仕様書」による。

5. リンゴ並木

(1) 一般

リンゴ並木の維持管理は、下記により実施することとし、その他の事項についてはⅢ街路樹編 1～4により実施することとする。

①リンゴ並木の維持管理については、豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務受託業者(以下「受託業者」という。)がすべての業務を行うこととする。

②受託業者は、通行の多い環状線の中央分離帯内での作業であることから、全ての作業において交通整理員を配置し、安全管理に努めること。

③受託業者は、担当職員と連絡を密にし、リンゴの生育状況改善と、円滑な作業進行を目指すこと。

④リンゴ並木は、道道札幌環状線の豊平区役所前から、国道36号線までの幅約6m 延長約1.1kmの中央分離帯内のリンゴ約 80 本であるが、同様の管理レベルを維持する必要があることから、豊平区役所前庭のリンゴの木(「夢果ちゃん」)1本、月寒公園ふれあい通の1本(世界一)を含め、あわせてリンゴを維持管理することとする。

⑤受託業者は、道道札幌環状線の草刈(草刈および除草A)及び清掃(植樹柵・帯清掃)は年 3 回実施することとする(中央分離帯面積 9,460 m²)。

⑥受託業者は、リンゴ並木の樹木本数及び収穫数量を、担当職員に適宜報告すること。

⑦受託業者は、札幌市が主催するリンゴ並木に関する各種イベントについて、担当職員の指示により、これに協力すること。

(2) 作業内容

ア)病虫害予防巡視

本業務期間中に、年間 31 回の病虫害予防巡視を行い、リンゴの生育状態及び病虫害の発生状況等を把握し、病虫害が顕著に発見された場合は、対応策を検討するとともに、速やかに業務主任に報告することとする。

イ)摘果作業

各樹木の樹勢や翌年度の花芽形成等を十分に考慮し、適切な量を結実させるべく、余分な実を取ることにする。

ウ)袋掛け・袋外し

早生種を対象に、病害虫の防除及び外観品質(着色)向上のために作業を行うことにする。

エ)葉切り作業

より優れた収穫(外観品質の向上)を目指し、選抜された果実に十分に日光が当たるように、障害している余分な葉を落とすことにする。

オ)冬季剪定作業

各作業の効率化(低い仕立て)及び果実の成り枝の向き、建築限界等を十分に考慮し、骨格形成を図ることにする。

カ)樹皮削り(腐らん病対策)及び防腐剤塗布

リンゴの生育で最も防除の困難な腐らん病対策のため、樹皮の削りを行い、患部に融合剤を塗布することにする。

キ) 春季施肥

果樹用化成肥料(15:13:18)による施肥は、雪解け後速やかにおこなうことにする。なお、肥料は、10本当たり30～50kgを標準として、樹齢及び樹勢を考慮し蒔肥すること。

ク) 秋季施肥

収穫後を目安に、有機肥料による蒔肥を行うこと。なお、肥料は、10本当たり50～80kgを標準として秋季施肥とする。

ケ) 薬剤散布

薬剤の散布時期については、指定の薬剤を135L/10本を目安に、葉の裏に至るまで、まんべんなく散布し、病虫害の防除に努めること。

第1回目(4/24 前後 休眠期:芽が白くなり始め直後)

START

第2回目(5/10 前後 発芽期)

17日後目安

第3回目(5/18 前後 開花直前:花が1～2輪咲き始め)

8日後目安

第4回目(6/5 前後 落花期:6月上旬)

18日後目安

第5回目(6/18 前後 落花10日後)

10日後目安

第6回目(6/30 前後 落花 20～25 日後頃)

第7回目(7/12 前後 7月中旬)	12日後目安
第8回目(7/26 前後 7月下旬)	12日後目安
第9回目(8/10 前後 最終収穫前1ヶ月半前)	14日後目安
	15日後目安

コ) 収穫作業

リンゴの品種ごとに、早生種は9月下旬を目安に、中間種は10月上旬を目安に、晩生種は10月中旬を目安に、収穫作業を行うこと。また、植栽後4年以上のものを対象に、リンゴの収穫を行うこと。

サ) その他

リンゴの保全と交通安全を目的とした、美園リンゴ会のボランティア活動により、落ちリンゴ等の清掃・収集が行われた際には、随時、回収・処分を行うこと。また、リンゴ収穫後は、選別作業を行い、箱分けをすること。

IV 災害時の対応

1. 警報発令時の対応

- (1)災害の発生が予測された場合には、担当職員の指示に従い、豊平区災害防止協力会の協力を得て、処置に当たることとする。
- (2)警報が発令された場合には、豊平区災害防止協力会の造園業者チーフ会員会社が土木センターに詰め、配置された造園業者に指示することとし、配置された造園業者は、その指示の元に災害防止及び処理作業にあたることとする。
- (3)配置される造園業者は、受託業者及び豊平区災害防止協力会の会員業者により構成される。
- (4)受託業者は、豊平区土木部維持管理課担当職員の命令により、豊平区災害防止協力会の指揮のもとに行動することとする。
- (5)受託業者は、被害状況及び対応状況を把握して本市に報告することとする。

2. 事故木処理等緊急時の対応

- (1)公園及び街路樹において事故が発生した場合は、状況に応じて速やかに処置することとする。
- (2)応急処置については、昼間・夜間をつうじて、本市担当職員又は受託業者がおこなうこととする。
- (3)事故木処理等のように造園業者の施工可能な作業については、本市の指定する者の指示を得

て、受託業者が処理することとする。

様式 I

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">記載例</div> <div>公園施設点検シート</div> <div> <p>凡例</p> <p>A：異常がなく、安全性に問題はない</p> <p>B：劣化や損傷があるが、安全性に問題がない</p> <p>C：劣化や損傷があり、安全性について別途確認が必要である</p> <p>D：劣化や損傷があり、安全性に懸念がある</p> </div> </div>				
公園名		近8 厚別中央公園		
公園種別とナンバー		記載者名 □ ○ □ ○		
対象施設等	点検項目	点検日 5/10	点検を5月末までに 行ってください	
園内全体	公園全景の景観印象	B		
	草刈等による芝生の状況	B		
	ガラスや鋭利な異物等の危険物がないか	D	ガラス片処理済	
	自転車、粗大ゴミ等の放置物がないか	B		
	水溜りや不陸等がないか	B		
	公衆便所にホームレスがいる模様、荷物等の痕跡あり	C	4/25には居なかった	
園路広場	舗装	欠損、小穴、クラックなど転倒の危険性	B	
		段差、根上りなど転倒の危険性がないか	C	根上りが数箇所
		ガラや危険物の露出がないか	B	
		水溜り、不陸による通行支障がないか	B	
		水みちによる通行支障がないか	A	
	階段 手摺 デッキ	本体の破損や部材の欠損がないか	—	
		踏面、床面の水溜りや不陸の支障がないか	—	
		塗装は必要か	—	
	擁壁 法面	擁壁の破損、変形、モルタルの剥離等がないか	—	
		法面の侵食、隆起、変形等がないか	B	
		落石防護柵等の破損・欠損がないか	—	
		落石防護柵等の腐食による老朽度	—	
樹 木	倒木がないか	A		
	傾斜、腐朽、枯損等の倒木の恐れがある木があるか	D	砂場近くのニセアカシアにキノコ有	
	落下の恐れがある枯枝がないか	D	同上	
	通行の支障や危険（目の高さ等）な枝がないか	A		
	照明、標識にかかる枝や見通しを妨げる中低木がないか	D	照明、近日中に処理予定	
	民地に越境している枝がないか	—		
	道路の建築限界（車道4.5、歩道2.5m）以下の枝がないか	D	歩道よりのトウヒ	
	剪定、刈込み及び間伐が必要な樹木がないか	D	生垣、近日中に処理予定	
	低木及びツタの刈込みの必要がないか	B		
	不要な支柱、破損した支柱がないか	—	支柱処理済	
	害虫の発生がないか	A		
	カラス及びハチの巣がないか	C	カラス	
遊戯施設	破損やゆがみ・傾き・ぐらつきがないか	D	スプリングぐらつき	
	紐やガラス片などの異物がないか	A		
	突起やささくれがないか	A		
	地際の腐食、塗膜の剥がれや浮きがないか	A		
	ボルト等部材の欠損、摩耗や劣化がないか	A		
	基礎が露出していないか	D	前年度工事の影響	
	遊具周辺に凹凸・石・根や枝がないか	D	同上	
	落書きはないか	A		
	塗装は必要か	A		
	砂場、砂の補充は、硬くないか、雑草・汚物はないか	C	雑草・硬い、15cm必要	

休養施設	ベンチ 四阿	本体のささくれ、傾き、折れ、ぐらつきなど	D	ベンチ2ぐらつき
		ボルト等部材の欠損がないか	A	
		基礎の傾き、露出、破損などがないか	D	ベンチ2基礎露出
		腐食・腐朽による老朽がないか	B	
		塗装は必要か	B	
		パーゴラの桟木が腐朽し危険		D
管理施設	車止	本体のささくれ、傾き、折れ、ぐらつきなど	A	
		ボルト等部材の欠損がないか	—	
		腐食・腐朽による老朽がないか	B	
		基礎の露出、ぐらつき、傾きなどがないか	A	
		塗装は必要か	B	
	柵	本体のぐらつき、傾き、折れ、ささくれなど	B	
		ボルト等部材の欠損がないか	D	ネット下部
		腐食・腐朽による老朽がないか	D	同上
		基礎の露出、ぐらつき、傾きなどがないか	A	
		塗装は必要か	B	
	照明灯	本体の傾き、基礎の露出がないか	B	基礎がやや露出
		腐食による老朽がないか	B	3本補修済み
		塗装は必要か	B	
		補強プレート取付けの必要がないか	B	
		点検口カバー取替の必要がないか	B	
		照明のつきばなし、時計時間表示の誤りがないか	A	
	看板	本体の傾き、ぐらつき、基礎の露出がないか	C	ぐらつき
		ボルト等部材の欠損がないか	A	
		腐食・腐朽による老朽がないか	B	
		基礎の露出、ぐらつき、傾きなどがないか	B	
		塗装は必要か	B	
		表示内容は妥当か	A	
		ラミネートの更新が必要ないか	D	老朽で文字が読めない
	モニュメント 彫刻・ 石碑等	腐蝕・ひび割れ、剥がれ、破損等がないか	B	
		揺すってぐらつきがないか	B	
	給水設備	本体の破損、傾き、部材の欠損（樹のボルトを含む）	B	
水圧、水量は妥当か		A		
蛇口閉栓時の漏水がないか		A		
樹・散水ボックス等に土砂などの堆積がないか		B		
樹・散水ボックス等の高さは妥当か、ぐらつかないか		A		
排水設備	側溝・樹の破損、蓋の紛失・ズレ・ガタツキ等がないか	D	側溝破損、早急対応必要	
	側溝・樹の高さは妥当か	D	側溝、凍上の影響か	
	土砂・落葉等の堆積がないか	D	水飲み台、処理済	
	逆勾配になっていないか	A		
《その他施設状況、所感など》				
園路の痛みがひどい、特に側溝箇所や根上りの部分、早急に補修が必要。				
前年度工事の汚れや陥没あり、対応をお願いしたい。				
公衆便所に落書きあり。				
ネットフェンスの老朽化、そろそろ更新の検討をお願いしたい。				

気がついたことなど、自由に記入してください

冬期公園巡視(2月) チェックリスト

記載例

様式-II

冬道事業 対象	街区・近隣・地区・都緑 告示 番号	75	公園名	大和東公園	巡視 実施日	平成31年2月20日	実施者	〇〇 〇〇
対象	項目	確認事項	チェック	対応	写真 有無	No.	備考	
公園外周部	雪山	機械(ハートローター-含む)での雪入れはないか。		報告	有	1	看板の設置	
		フェンス等の外柵の破損の恐れはないか		報告	有	2	スノーボールの表示	
		道路への滑落や飛び出しの恐れがないか。		報告	有	3	直線スロープ有	
公園広場内	雪山	施設の破損の恐れのある雪入れはないか	レ		無			
		カマクラ等、子供が埋もれる可能性のある雪山はないか	レ		無			
施設関係	四阿(シエル ター含む)	屋根の積雪が1m以上になっていないか		雪おろし	有	4	(建築基準の積雪は1.4m)	
		雪庇やツララはないか		除去	有	4		
		大きな空洞、周囲との落差がないか。	レ		無			
	照明灯	灯柱周囲が空洞になっていないか(子供が落ちないか)	レ		無			
		架空線が人にぶつからないか。	レ		無			
	滑り台	チューブ型等閉じ込められる構造がないか		出入口閉鎖	有	5	閉鎖板設置	
		踊り場の下部など支柱付近が空洞になっていないか	レ		無			
		階段・踊り場等がかまぼこ状になっていないか(滑らないか)	レ		無			
	ブランコ	支柱や梁の変形の恐れがないか	レ		無			
	鉄棒	握り棒がすべて見えているか。		除雪	有	6	握り棒が埋もれないよう除雪	
樹木類		テープなどの注意喚起物が適正な状態か	レ		無			
	コンビネーション 遊具	遊具内部と周辺の雪山の高低差により滑落や閉じ込められる空洞はないか	-		無			
		チューブ型等閉じ込められる構造がないか	-		無			
		階段・踊り場等がかまぼこ状になっていないか(滑らないか)	-		無			
	ターザンロープ	積雪によりワイヤーが人と接触しないか。		テープ等で表示	有	7		
	高木	特に針葉樹の枝葉部分に落雪の恐れのある積雪がないか	レ		無			
その他		雪入れなどにより枝折れの恐れがないか	レ		無			
	公園全体	過度の雪入れなどで利用者・歩行者などに危険な状況になっていないか	レ		無			

内訳書の表記について

- 設計内訳書の表記については、下記の通り読み替えを行うこととする。

・ 工事番号	→	業務番号
--------	---	------

・ 工事名	→	業務名
-------	---	-----

・ 工事区分	→	業務区分
--------	---	------

・ 直接工事費	→	直接業務費
---------	---	-------

・ 純工事費	→	純業務費
--------	---	------

・ 工事原価	→	業務原価
--------	---	------

・ 工事価格	→	業務価格
--------	---	------

・ 工事費計	→	業務委託料
--------	---	-------

豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)
業務委託料総括表

区分	工種	種別	単位	公園	街路樹	合計
直接業務費	標準作業	清掃・草刈	1式			
		樹木管理	1式			
		施設管理	1式			
		歩道美化	1式			
		鳥獣対応	1式			
		安全費	1式			
		小計	1式			
	地区特有作業	樹木管理	1式			
		施設管理	1式			
		廃棄物処理	1式			
		清掃・草刈				
		リンゴ並木管理				
	小計	1式				
合計		1式				
共通仮設費	共通仮設費(率計上)		1式			
	合計		1式			
純業務費			1式			
現場管理費			1式			
業務原価			1式			
一般管理費			1式			
業務価格			1式			
消費税等相当額			1式			
業務委託料			1式			

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【公園編】	当 初	事業区分	公園緑地整備・改修	
					工事区分	公園維持管理	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
公園維持管理				式	1		
標準作業				式	1		
清掃・草刈				式	1		
清掃				式	1		
草刈				式	1		内-1号
樹木管理				式	1		内-2号
下枝・支柱・薬剤				式	1		
低木等管理				式	1		内-3号
高木剪定				式	1		内-4号
伐採				式	1		内-5号
抜根				式	1		内-6号
樹木冬囲い				式	1		内-7号
				式	1		内-8号

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 公園編】	豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【	当 初	事業区分	公園緑地整備・改修	
						工事区分	公園維持管理	
工事区分・工種・種別・細別				規格	単位	数量	数量増減	摘要
施設管理					式	1		
砂場・広場等					式	1		内-9号
照明灯					式	1		内-10号
巡視点検					式	1		内-11号
施設冬囲い					式	1		内-12号
鳥獣対応					式	1		
カラス・ハチ					式	1		内-13号
区特有作業					式	1		
樹木管理					式	1		
樹木植栽					式	1		内-14号
施設管理					式	1		
遊水路管理					式	1		内-15号

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【公園編】	当 初	事業区分	公園緑地整備・改修	
					工事区分	公園維持管理	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
砂場・広場等				式	1		内-16号
廃棄物処理				式	1		
廃棄物処理費				式	1		内-17号
直接工事費				式	1		
共通仮設費				式	1		
共通仮設費（率計上）				式	1		
純工事費				式	1		
現場管理費				式	1		
工事原価				式	1		
一般管理費等				式	1		
工事価格				式	1		
消費税等相当額				式	1		

設計内訳書（金抜き）

工事番号	工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【公園編】	当 初	事業区分	共通仮設費		
				工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
工事費計				式	1		

一式当たり内訳書（金抜き）

第 1号内訳書	清掃				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
清掃A		拾い集め型	1000m2	850		単一 1号
清掃B		春1回目；拾い+掃き	1000m2	67		単一 2号
清掃C		秋清掃；拾い+掃き	1000m2	147		単一 3号
U型側溝除芥清掃			m	200		単一 4号
ゴミ袋回収		40L；運搬距離12km以下	袋	2, 000		単一 5号
放置ゴミ回収		家電・自転車・タイヤなど	回	5		単一 6号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

第 3号内訳書	下枝・支柱・薬剤				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
ヤゴ取り A		C50cm以下	本	10		単一 8号
ヤゴ取り B		C50cm以上	本	10		単一 9号
樹木下枝取り			本	160		単一 10号
薬剤カプセル打込みC		公園樹など 対象樹木10本未満の場合；薬剤含む	本	1		単一 11号
薬剤カプセル打込みD		公園樹など 対象樹木10本未満の場合；薬剤支給	本	1		単一 12号
丸太支柱		支柱取付B-2 二脚鳥居支柱A；購入品	組	1		単一 13号
支柱撤去B		二脚鳥居支柱A；片付含む	組	1		単一 14号
支柱撤去C		二脚鳥居支柱B；片付含む	組	1		単一 15号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

第 5号内訳書	高木剪定				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
公園樹木剪定A		30<C≤60cm；人力；片付含む	本	1		単一 18号
公園樹木剪定B		60<C≤90cm；人力；片付含む	本	1		単一 19号
公園樹木剪定C		90<C≤105cm；人力；片付含む	本	1		単一 20号
公園樹木剪定D		105<C≤120cm；人力；片付含む	本	15		単一 21号
公園樹木剪定E		120<C≤150cm；人力；片付含む	本	15		単一 22号
公園樹木剪定F		8. 0<H≤12. 0m；高所作業車使用；片付含む	本	15		単一 23号
公園樹木剪定G		12. 0<H≤18. 5m；高所作業車使用；片付含む	本	15		単一 24号
公園樹木剪定H		18. 5<H≤23. 0m；高所作業車使用；片付含む	本	15		単一 25号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 6号内訳書		伐採			単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
伐採 A		15≦C<20cm	本	1		単一 26号
伐採 B		20≦C<30cm	本	1		単一 27号
伐採 C		30≦C<40cm	本	1		単一 28号
伐採 D		40≦C<60cm	本	1		単一 29号
伐採 E		60≦C<80cm	本	1		単一 30号
伐採 F		80≦C<100cm	本	1		単一 31号
伐採 G		100≦C<120cm	本	1		単一 32号
伐採 H		120≦C<150cm	本	1		単一 33号
伐採 I		150cm≦C	本	1		単一 34号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 7号内訳書	抜根				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
抜根 A		C<30cm	本	1		単一 35号
抜根 B		30≦C<60cm				
抜根 C		60≦C<90cm	本	1		単一 36号
抜根 D		90≦C<120cm				
抜根 E		120≦C<150cm	本	1		単一 37号
抜根 F		150cm≦C				
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 8号内訳書	樹木冬囲い				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名 称		規 格	単 位	数 量	数量増減	摘 要
樹木冬囲い設置B		低木；女竹；H=1. 2m, W=0. 8m；購入品	組	15		単一 41号
樹木冬囲い撤去B		低木；女竹；H=1. 2m, W=0. 8m	組	15		単一 42号
樹木冬囲い設置D		低木；縄1回巻き；H=0. 6m, W=0. 3m；購入品	組	2, 003		単一 43号
樹木冬囲い撤去D		低木；縄1回巻き；H=0. 6m, W=0. 3m	組	2, 003		単一 44号
樹木冬囲い設置E		低木；縄2回巻き；H0. 9m, W0. 5m；購入品	組	565		単一 45号
樹木冬囲い撤去E		低木；縄2回巻き；H0. 9m, W0. 5m	組	565		単一 46号
樹木冬囲い設置F		低木；縄3回巻き；H1. 2m, W0. 8m；購入品	組	185		単一 47号
樹木冬囲い撤去F		低木；縄3回巻き；H1. 2m, W0. 8m	組	185		単一 48号
樹木冬囲い設置J		低木；晒竹；むしろ2枚；H2. 0m, W1. 0m；購入品	組	1		単一 49号
樹木冬囲い撤去J		低木；晒竹；むしろ2枚；H2. 0m, W1. 0m	組	1		単一 50号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 9号内訳書	砂場・広場等				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
砂場整正		異物除去；砂起こしt=200	m2	780		単一 51号
砂場砂撤去			m3	3		単一 52号
砂場砂補充		購入品	m3	3		単一 53号
グラウンド土補充		砂	m3	1		単一 54号
グラウンド土補充		黒土	m3	1		単一 55号
ダスト舗装			m2	166		単一 56号
水飲み台蛇口交換		支給品	箇所	2		単一 57号
張芝工		芝串なし	m2	10		単一 58号
除草B		花壇草取（普通）	100m2	1		単一 59号
灌水		1800L級車；水道料金含む	1000L	1		単一 60号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 10号内訳書		照明灯			単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
メタルハイドランプ取替 C		300W 拡散型(MF)	個	1		単一 61号
メタルハイドランプ取替 D		400W 拡散型(MF)	個	1		単一 62号
ナトリウムランプ取替C		NH180W	個	1		単一 63号
不点調査			箇所	7		単一 64号
LEDライトバルブ交換		支給品	箇所	2		単一 65号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 11号内訳書	巡視点検				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
公園巡視点検(昼)			箇所	227		単一 66号
公園巡視点検(夜)			箇所	41		単一 67号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 12号内訳書	施設冬囲い				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名 称		規 格	単 位	数 量	数量増減	摘 要
水飲み台冬囲い設置B		普通；むしろ1枚；閉栓	基	2		単一 68号
水飲み台冬囲い撤去B		普通；むしろ1枚；開栓	基	2		単一 69号
水飲み台冬囲い設置C		身体者用；むしろ2枚；閉栓	基	31		単一 70号
水飲み台冬囲い撤去C		身体者用；むしろ2枚；開栓	基	31		単一 71号
遊具（ブランコ・シーソー等）冬囲い設置		養生材支給品（縄材除く）	基	60		単一 72号
遊具（ブランコ・シーソー等）冬囲い撤去			基	60		単一 73号
遊具（鉄棒）冬囲い設置・撤去		支給品	基	25		単一 74号
人力除雪工			m3	123		単一 75号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 13号内訳書	カラス・ハチ				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
カラスの巣撤去A		人力				
			箇所	1		単一 76号
カラスの巣撤去B		高所作業車12m級使用、計画撤去				
			箇所	1		単一 77号
ハチの巣撤去						
			箇所	3		単一 78号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

第 16号内訳書	砂場・広場等				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
簡易看板設置B		木杭2本 (L=1. 2～1. 8m, 末口6cm程度) ; 看板支給	基	20		単一 82号
簡易看板設置C		木杭1本 (L=1. 2～1. 8m, 末口6cm程度) ; 木杭・看板支給	基	20		単一 83号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 17号内訳書	廃棄物処理費				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
処理費（事業系一般廃棄物 焼却処理）（公園街路樹編		札幌市各清掃工場・破砕工場（すべての間接費対象外）	t	40		
処理費（建設副産物処理） 木くず 再生（剪定枝等）		札幌市ごみ資源化工場（剪定枝等リサイクル施設）（10％）	t	1		
タンコロ・枝外買取（公園 街路樹編No. 502）		土は極力除くこと（t：水分無調整重量）	t	10		
長材買取（公園街路樹編No . 503）		末口6～50cm未満 材長2. 4mの幹材又は末口50cm以上 材長2. 0mの幹材（m3：空隙率50％換算）	m3	10		
根株買取（公園街路樹編No . 504）		土は極力除くこと（t：水分無調整重量）	t	10		
合 計						

設計総括表（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【 街路樹編】	当 初	事業区分	公園緑地整備・改修		
					工事区分	街路樹維持管理		
工事区分・工種・種別				単位	数量	数量増減	摘要	
街路樹維持管理				式	1			
標準作業				式	1			
清掃・草刈				式	1			
樹木管理				式	1			
歩道美化				式	1			
鳥獣対応				式	1			
安全費				式	1			
区特有作業				式	1			
清掃・草刈				式	1			
樹木管理				式	1			
施設管理				式	1			
リング並木管理				式	1			
廃棄物処理				式	1			

設計総括表（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【 街路樹編】	当 初	事業区分	公園緑地整備・改修		
					工事区分	街路樹維持管理		
工事区分・工種・種別				単位	数量	数量増減	摘要	
直接工事費 冬期屋外労務補正：補正なし				式	1			
共通仮設費				式	1			
共通仮設費（率計上） 工種区分：公園工事 施工地域区分：地方部 補正なし				式	1			
純工事費				式	1			
現場管理費 率の冬期補正：適用なし 施工地域区分：地方部 補正なし				式	1			
工事原価				式	1			
一般管理費等 前払金支出割合：保証なし又は3 5 %超 契約保証補正：補正無				式	1			
工事価格				式	1			
消費税等相当額				式	1			
工事費計				式	1			

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【 街路樹編】	当 初		事業区分	公園緑地整備・改修	
						工事区分	街路樹維持管理	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要	
街路樹維持管理				式	1			
標準作業				式	1			
清掃・草刈				式	1			
清掃				式	1			
草刈				式	1		内-1号	
樹木管理				式	1		内-2号	
下枝・支柱・薬剤				式	1			
高木剪定				式	1		内-3号	
伐採				式	1		内-4号	
抜根				式	1		内-5号	
巡視点検				式	1		内-6号	
樹木冬囲い				式	1		内-7号	
				式	1		内-8号	

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【 街路樹編】	当 初	事業区分	公園緑地整備・改修	
					工事区分	街路樹維持管理	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
歩道美化				式	1		
花苗配布				式	1		内-9号
鳥獣対応				式	1		
カラス・ハチ				式	1		内-10号
安全費				式	1		
交通管理				式	1		内-11号
区特有作業				式	1		
清掃・草刈				式	1		
清掃				式	1		内-12号
草刈				式	1		内-13号
樹木管理				式	1		
樹木植栽				式	1		内-14号

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【 街路樹編】	当 初	事業区分	公園緑地整備・改修	
					工事区分	街路樹維持管理	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	数量増減	摘要
施設管理				式	1		
冬囲い				式	1		内-15号
その他				式	1		内-16号
リング並木管理				式	1		
リング管理				式	1		内-17号
リング補植				式	1		内-18号
廃棄物処理				式	1		
廃棄物処理費				式	1		内-19号
直接工事費				式	1		
共通仮設費				式	1		
共通仮設費（率計上）				式	1		
純工事費				式	1		

設計内訳書（金抜き）

工事番号		工事名	R7年度 豊平区公園及び街路樹等総合維持管理業務(豊平北地区)【 街路樹編】	当 初		事業区分	共通仮設費	
						工事区分	共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別				規格	単位	数量	数量増減	摘要
現場管理費					式	1		
工事原価					式	1		
一般管理費等					式	1		
工事価格					式	1		
消費税等相当額					式	1		
工事費計					式	1		

一式当たり内訳書（金抜き）

第 1号内訳書	清掃				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
			労務調整-超過-規制			1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
植樹柵・帯清掃		拾い＋掃き	1000m2	41. 5		単一 1号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 2号内訳書	草刈				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
草刈 I		モ795%；手刈り5%；片付含む	100m2	49		単一 2号
草刈 L		刈払機95%；手刈り5%；片付含む	100m2	227		単一 3号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 3号内訳書	下枝・支柱・薬剤				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
ヤゴ取りA		C50cm以下	本	10		単一 4号
樹木下枝取り			本	10		単一 5号
薬剤カプセル打ち込みF		半日程度の連続作業、薬剤（支給品）	本	1		単一 6号
支柱結束A		二脚鳥居型；C30cm標準	本	10		単一 7号
道路植栽（支柱設置）		高木二脚鳥居添木付幹周30cm未満 支柱 10本以上50本未満 無 無 供用区間 標準（歩道及び交通島） 無 購入品	本	1		単一 8号
道路植栽（支柱設置）		高木二脚鳥居添木無幹周30上40未 支柱 10本以上50本未満 無 無 供用区間 標準（歩道及び交通島） 無 購入品	本	1		単一 9号
支柱撤去A		二脚鳥居支柱（添木付）；片付含む	組	1		単一 10号
支柱撤去B		二脚鳥居支柱A；片付含む	組	1		単一 11号
支柱撤去C		二脚鳥居支柱 添木無 L=2. 1	組	1		単一 12号
支柱撤去D		二脚鳥居型 ディックウッド L=1. 8；片付含む	組	1		単一 13号
支柱補修A		支柱 1 本取替L=1. 8 購入品	組	1		単一 14号
支柱補修C		横木 1 本取替L=0. 6 購入品	組	1		単一 15号

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

第 4号内訳書	高木剪定				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
街路樹木剪定A		C≦30cm；人力；片付含む(冬季剪定)	本	31		単一 16号
街路樹木剪定B		30<C≦60cm；人力；片付含む(冬季剪定)	本	140		単一 17号
街路樹木剪定C		60<C≦90cm；人力；片付含む(冬季剪定)	本	490		単一 18号
街路樹木剪定D		90<C≦105cm；人力；片付含む(冬季剪定)	本	252		単一 19号
街路樹木剪定E		105<C≦120cm；人力；片付含む(冬季剪定)	本	121		単一 20号
街路樹木剪定F		120<C≦150cm；人力；片付含む(冬季剪定)	本	42		単一 21号
街路樹木剪定M		H=12m程度；高所作業車使用；片付含む(夏季剪定及び冬季剪定)	本	11		単一 22号
街路樹木剪定N		H=18m程度；高所作業車使用；片付含む	本	1		単一 23号
街路樹木剪定O		H=22m程度；高所作業車使用；片付含む	本	1		単一 24号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 5号内訳書	伐採				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
	名称	規格	単位	数量	数量増減	摘要
	伐採 A	15≦C<20cm	本	1		単一 25号
	伐採 B	20≦C<30cm	本	1		単一 26号
	伐採 C	30≦C<40cm	本	1		単一 27号
	伐採 D	40≦C<60cm	本	1		単一 28号
	伐採 E	60≦C<80cm	本	1		単一 29号
	伐採 F	80≦C<100cm	本	1		単一 30号
	伐採 G	100≦C<120cm	本	1		単一 31号
	伐採 H	120C<150cm	本	1		単一 32号
	伐採 I	150cm≦C	本	1		単一 33号
	合 計					

一式当たり内訳書（金抜き）

第 6号内訳書	抜根				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
抜根 A		C<30cm	本	1		単一 34号
抜根 B		30≦C<60cm	本	1		単一 35号
抜根 C		60≦C<90cm	本	1		単一 36号
抜根 D		90≦C<120cm	本	1		単一 37号
抜根 E		120≦C<150cm	本	1		単一 38号
抜根 F		150cm≦C	本	1		単一 39号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

第 8号内訳書	樹木冬囲い				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
樹木冬囲い設置B		低木；女竹；H=1. 2m, W=0. 8m；購入品	組	15		単一 41号
樹木冬囲い撤去B		低木；根曲竹；H=1. 2m, W=0. 8m	組	15		単一 42号
樹木冬囲い設置C		低木；晒竹；H=1. 2m, W=0. 8m；購入品	組	40		単一 43号
樹木冬囲い撤去C		低木；晒竹；H=1. 2m, W=0. 8m	組	40		単一 44号
樹木冬囲い設置D		低木；縄1回巻き；H=0. 6m, W=0. 3m；購入品（豊平ふれあい通含む）	組	210		単一 45号
樹木冬囲い撤去D		低木；縄1回巻き；H=0. 6m, W=0. 3m（豊平ふれあい通含む）	組	210		単一 46号
樹木冬囲い設置E		低木；縄2回巻き；H0. 9m, W0. 5m；購入品（豊平ふれあい通含む）	組	20		単一 47号
樹木冬囲い撤去E		低木；縄2回巻き；H0. 9m, W0. 5m（豊平ふれあい通含む）	組	20		単一 48号
樹木冬囲い設置F		低木；縄3回巻き；H1. 2m, W0. 8m；購入品（豊平ふれあい通含む）	組	60		単一 49号
樹木冬囲い撤去F		低木；縄3回巻き；H1. 2m, W0. 8m（豊平ふれあい通含む）	組	60		単一 50号
樹木冬囲い設置 I		低木；女竹；むしろ2枚；H2. 0m, W1. 0m；購入品	組	3		単一 51号
樹木冬囲い撤去 I		低木；根曲竹；むしろ2枚；H2. 0m, W1. 0m	組	3		単一 52号

一式当たり内訳書（金抜き）

第 8号内訳書	樹木冬囲い				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名 称		規 格	単 位	数 量	数量増減	摘 要
樹木冬囲い設置 J		低木；晒竹；むしろ2枚；H2. 0m, W1. 0m；購入品	組	10		単一 53号
樹木冬囲い撤去 J		低木；晒竹；むしろ2枚；H2. 0m, W1. 0m				
			組	10		単一 54号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 9号内訳書	花苗配布				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
桝花壇用花苗配布		(一年草) 花苗購入、運搬費含む P φ 9cmペチュニア 、ペゴニア、マリーゴールド程度	株	26, 000		
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 10号内訳書	カラス・ハチ				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
カラスの巣撤去A		人力	箇所	1		単一 55号
カラスの巣撤去B		高所作業車12m級使用、計画撤去	箇所	1		単一 56号
カラスの巣撤去C		高所作業車18～18. 5m級使用、計画撤去	箇所	1		単一 57号
ハチの巣撤去			箇所	1		単一 58号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

第 12号内訳書	清掃				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
植樹柵・帯清掃		拾い＋掃き 環状通（リンゴ並木）	1000m2	37. 8		単一 61号
清掃A（公園街路樹編No. 1）		拾い集め型 豊平ふれあい通	1000㎡	13. 7		単一 62号
清掃B		春1回目；拾い＋掃き 豊平ふれあい通	1000㎡	0. 9		単一 63号
清掃C		秋清掃；拾い＋掃き 豊平ふれあい通	1000㎡	1. 9		単一 64号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 13号内訳書	草刈				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
草刈 I		モ795%；手刈り5%；片付含む 環状通（リンゴ並木）	100m2	353		単一 65号
草刈 L		刈払機95%；手刈り5%；片付含む 環状通（リンゴ並木）リンゴ植栽箇所周辺	100m2	25		単一 66号
草刈 L		刈払機95%；手刈り5%；片付含む 豊平ふれあい通	100m2	9		単一 67号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 14号内訳書	樹木植栽				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名 称		規 格	単 位	数 量	数量増減	摘 要
街路樹植栽		ナナカマド；H3.5・C0.15・W0.8；客土・土壌改良剤 含む 二脚鳥居支柱添木付	本	1		単一 68号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 15号内訳書	冬囲い				単価適用年月	2024. 11
					歩掛適用年月	2024. 11
					労務調整-超過-規制	1. 000-00000002000
名 称		規 格	単 位	数 量	数量増減	摘 要
水飲み台冬囲い設置C		身体者用；むしろ2枚；閉栓	基	1		単一 69号
水飲み台冬囲い撤去C		身体者用；むしろ2枚；開栓	基	1		単一 70号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

第 17号内訳書	リンゴ管理				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
病害虫予防巡視			回	31		単一 73号
摘果作業			回	1		単一 74号
袋掛・袋外し作業			回	1		単一 75号
葉切り作業			回	1		単一 76号
早生種収穫作業			回	1		単一 77号
中生種収穫作業			回	1		単一 78号
晩生種収穫作業			回	1		単一 79号
冬季剪定作業			回	1		単一 80号
樹皮削り		腐乱病対策	回	1		単一 81号
薬剤散布 A		スミチオン（1000倍希釈）・マラソン（2000倍希釈）	L	8,000		単一 82号
春季施肥			回	1		単一 83号
秋季施肥			回	1		単一 84号

一式当たり内訳書（金抜き）

[illegible]

一式当たり内訳書（金抜き）

第 18号内訳書	リンゴ補植				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称		規格	単位	数量	数量増減	摘要
植栽基盤改良		1本あたり3.8m3黒土・土壌改良剤	本	1		単一 85号
りんご苗木代		H=2.0m内外 策定単価	本	1		
道路植栽（植樹）		中木樹高200cm以上300cm未満 10本未満 無 無 供用区間 中央分離帯 無 無	本	1		単一 86号
丸太支柱		二脚鳥居支柱(添木付)	組	1		単一 87号
合 計						

一式当たり内訳書（金抜き）

第 19号内訳書 廃棄物処理費				単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	2024. 11 2024. 11 1. 000-00000002000
名称	規格	単位	数量	数量増減	摘要
処理費（事業系一般廃棄物 焼却処理）	札幌市各清掃工場・破砕工場（全ての間接費対象外）	t	40		
処理費（建設副産物処理） 木くず 再生（剪定枝等）	札幌市ごみ資源化工場（剪定枝等リサイクル施設）（10％）	t	1		
タンコロ・枝外買取	土は極力除くこと（t：水分無調整重量）	t	10		
長材買取	末口6～50cm未満 材長2. 4m の幹材又は末口直径50cm以上材長2. 0mの幹材（m3：空隙率50％換算）	m3	10		
根株買取（公園街路樹No.編 504）	土は極力除くこと（t：水分無調整重量）	t	10		
合 計					

豊平区公園及び街路樹総合維持管理業務（豊平北地区）数量総括表【公園編：住区基幹公園】

基 本 数 量

街	区	公	園	箇所数
近	隣	園	園	38
都	市	緑	地	1
合			計	2
				41
住区基幹公園業者管理合計				28
街区公園町内会管理委託				13
合 計				41

設 計 数 量

設 計 項 目				設計数量	単位	数 量	回数	総 数	備考			
標準作業	清掃	清掃A（通常）業者管理公園対象		850	1000㎡	56,149 ㎡	×	14	=	856,096	有効数値2桁	
		清掃B（春）業者管理公園対象		67	1000㎡					67,992	有効数値2桁	
		清掃C（秋）業者管理公園対象		147	1000㎡					147,144	有効数値3桁	
		U字側溝清掃泥上げ業者管理公園対象		200	m	203 m	×	1	=	203	有効数値2桁	
		ゴミ袋回収（40L）町内会管理公園対象		2,000	袋					2,000		
		放置ゴミ回収適宜		5	回							
	草刈り		草刈E業者管理公園対象		1,160	100㎡	42,782 ㎡	×	3	=	116,038	有効数値3桁
	樹木管理	下枝支柱薬剤	ヤゴ取りA C50cm以下		10	本						
			ヤゴ取りB C50cm以上		10	本						
			下枝取り		160	本						
			薬剤カプセル打込みC 適宜		1	本						
			薬剤カプセル打込みD 適宜		1	本						
			支柱取付（公園）B-2 適宜；二脚鳥居型支柱A（購入品）		1	組						
			支柱撤去（公園）B 適宜		1	組						
			支柱撤去（公園）C 適宜		1	組						
		低木	生垣刈込A		115	10m	(521×2)（広葉樹）+105（針葉樹）=1147m					有効数値3桁
			藤棚剪定 適宜		98	m2						
		高木剪定	樹木剪定A		1	本						
			樹木剪定B		1	本						
			樹木剪定C		1	本						
			樹木剪定D		15	本						
			樹木剪定E		15	本						
			樹木剪定F		15	本						
			樹木剪定G		15	本						
			樹木剪定H		15	本						
		伐採	伐採A		1	本						
伐採B			1	本								
伐採C			1	本								
伐採D			1	本								
伐採E			1	本								
伐採F			1	本								
伐採G			1	本								
伐採H			1	本								
伐採I			1	本								
抜根	抜根A		1	本								
	抜根B		1	本								
	抜根C		1	本								
	抜根D		1	本								
	抜根E		1	本								
	抜根F		1	本								
樹木冬囲い	樹木冬囲いB 設置		15	組	15 組	×	1	=	15			
	樹木冬囲いB 撤去		15	組	15 組	×	1	=	15			
	樹木冬囲いD 設置		2,003	組	2,003 組	×	1	=	2,003			
	樹木冬囲いD 撤去		2,003	組	2,003 組	×	1	=	2,003			
	樹木冬囲いE 設置		565	組	565 組	×	1	=	565			
	樹木冬囲いE 撤去		565	組	565 組	×	1	=	565			
	樹木冬囲いF 設置		185	組	185 組	×	1	=	185			
	樹木冬囲いF 撤去		185	組	185 組	×	1	=	185			
	樹木冬囲いJ 設置		1	組	1 組	×	1	=	1			
	樹木冬囲いJ 撤去		1	組	1 組	×	1	=	1			

設 計 項 目				設計数量	単位	数 量	回数	総 数	備考					
地区 特有 作業	施設 管理	広砂場等・	砂場整正	全公園対象	780	m ²	780 m ²	×	1	=	780	有効数値3桁		
			砂場 砂撤去	適宜	3	m ³								
			砂場 砂補充	適宜	3	m ³								
			グラウンド土補充（砂）	適宜	1	m ³								
			グラウンド土補充（黒土）	適宜	1	m ³								
			ダスト舗装	適宜	166	m ²								
			水飲み台蛇口交換		2	箇所								
			張芝工	目串無し	10	m ²								
			除草B	豊陵公園	1	100m ²	185 m ²	×	1	=	185			
			灌水	適宜	1	1000L								
		照明灯	メタルハライドランプ取替C(300W)	適宜	1	個								
			メタルハライドランプ取替D(400W)	適宜	1	個								
			ナトリウムランプ取替C(180W)	適宜	1	個								
			不点調査	適宜	7	箇所								
			LEDライトバルブ交換	適宜 支給品	2	箇所								
		巡視点検	巡視点検（昼）	夏季 町内会管理対象公園	104	箇所	13 公園	×	8	=	104			
			巡視点検（昼）	冬季 全公園対象	123	箇所	41 公園	×	3	=	123			
			巡視点検（夜）	冬季 全公園対象 12月	41	箇所	41 公園	×	1	=	41			
		施設冬囲い	水飲み台冬囲い設置B		2	基	2 基	×	1	=	2			
			水飲み台冬囲い撤去B		2	基	2 基	×	1	=	2			
			水飲み台冬囲い設置C		31	基	31 基	×	1	=	31			
			水飲み台冬囲い撤去C		31	基	31 基	×	1	=	31			
			ブランコ・シーソー冬囲い設置		60	基	60 基	×	1	=	60			
			ブランコ・シーソー冬囲い撤去		60	基	60 基	×	1	=	60			
			鉄棒冬囲い設置・撤去		25	基	25 基	×	1	=	25			
			人力除雪工		123	m ³	41 公園	×	3	=	123			
		鳥獣 対応	カハラス・	カラスの巣撤去A（人力）	適宜	1	箇所							
				カラスの巣撤去B（高所作業車12m）	適宜	1	箇所							
				ハチの巣撤去	適宜	3	箇所							
		樹木 管理	樹木 植栽	エゾヤマザクラ		2	本							
			施設 管理	点巡 検視	遊水路点検（毎日2回程度以上）	ライラック公園のみ	51	日	1 公園	×	51		=	51
					遊水路清掃（週1回以上）	ライラック公園のみ(0.35m ²)	8	回	1 公園	×	8		=	8
				広砂 場等・	簡易看板設置B	適宜	20	基						
		簡易看板設置C	適宜		20	基								
処理費			焼却処理		40	t								
			木くず再生		1	t								
			タンコロ・枝外買取		10	t								
			長材・タンコロ等買取	長材 買取	10	m ³								
			根株 買取	10	t									

※網掛け部分は計画外作業

豊平区公園及び街路樹総合維持管理業務（豊平北地区）数量総括表【街路樹編】

設 計 数 量												
設 計 項 目				設計数量	単位	数 量	回数	総 数	備考			
標準作業	清掃	植樹樹・帯清掃	全路線対象	41.5	1000㎡	13,821 ㎡	×	3	=	41,463		
	草刈	草刈Ⅰ（モア95%；手刈5%；全片づけ）		49	100㎡	2,454 ㎡	×	2	=	4,908	有効数値 2 桁	
		草刈Ⅱ（刈払機95%；手刈5%；全片づけ）	全路線対象	227	100㎡	11,367 ㎡	×	2	=	22,734	有効数値 3 桁	
	樹木管理	下枝 支柱 薬剤	ヤゴ取り A	適宜	10	本						計画外
			下枝取り	適宜	10	本						計画外
			薬剤カプセル打込みF	適宜	1	本						計画外
			支柱結束 A	適宜	10	本						計画外
			道路植栽（支柱設置）	適宜	高木二脚鳥居型支柱（添木付）	1	組					計画外
			道路植栽（支柱設置）	適宜	高木二脚鳥居型支柱A	1	組					計画外
			支柱撤去 A	適宜		1	組					計画外
			支柱撤去 B	適宜		1	組					計画外
			支柱撤去 C	適宜		1	組					計画外
			支柱撤去 D	適宜		1	組					計画外
			支柱補修 A	適宜		1	組					計画外
			支柱補修 C	適宜		1	組					計画外
		高木 剪定	街路樹剪定 A	冬季剪定	31	本	31 本	×	1	=	31	
			街路樹剪定 B	冬季剪定	140	本	140 本	×	1	=	140	
			街路樹剪定 C	冬季剪定	490	本	490 本	×	1	=	490	
			街路樹剪定 D	冬季剪定	252	本	252 本	×	1	=	252	
			街路樹剪定 E	冬季剪定	121	本	121 本	×	1	=	121	
			街路樹剪定 F	冬季剪定	42	本	42 本	×	1	=	42	
			街路樹剪定 M	夏季剪定および冬季剪定	11	本	11 本	×	1	=	11	
			街路樹剪定 N	適宜	1	本						計画外
			街路樹剪定 O	適宜	1	本						計画外
		伐採	伐採 A	適宜	1	本						計画外
			伐採 B	適宜	1	本						計画外
			伐採 C	適宜	1	本						計画外
			伐採 D	適宜	1	本						計画外
			伐採 E	適宜	1	本						計画外
			伐採 F	適宜	1	本						計画外
			伐採 G	適宜	1	本						計画外
			伐採 H	適宜	1	本						計画外
			伐採 I	適宜	1	本						計画外
		抜根	抜根 A	適宜	1	本						計画外
			抜根 B	適宜	1	本						計画外
			抜根 C	適宜	1	本						計画外
			抜根 D	適宜	1	本						計画外
			抜根 E	適宜	1	本						計画外
			抜根 F	適宜	1	本						計画外
	巡視	街路巡視点検	全路線対象(往復)	338	km	56.4 km	×	6	=	338	有効数値 3 桁	
	冬囲い	樹木冬囲いB 設置		15	組	15 組	×	1	=	15		
		樹木冬囲いB 撤去		15	組	15 組	×	1	=	15		
		樹木冬囲いC 設置		40	組	40 組	×	1	=	40		
		樹木冬囲いC 撤去		40	組	40 組	×	1	=	40		
		樹木冬囲いD 設置	豊平ふれあい通 含む	210	組	210 組	×	1	=	210		
		樹木冬囲いD 撤去	豊平ふれあい通 含む	210	組	210 組	×	1	=	210		
		樹木冬囲いE 設置	豊平ふれあい通 含む	20	組	20 組	×	1	=	20		
		樹木冬囲いE 撤去	豊平ふれあい通 含む	20	組	20 組	×	1	=	20		
		樹木冬囲いF 設置	豊平ふれあい通 含む	60	組	60 組	×	1	=	60		
		樹木冬囲いF 撤去	豊平ふれあい通 含む	60	組	60 組	×	1	=	60		
		樹木冬囲いI 設置		3	組	3 組	×	1	=	3		
		樹木冬囲いI 撤去		3	組	3 組	×	1	=	3		
		樹木冬囲いJ 設置		10	組	10 組	×	1	=	10		
		樹木冬囲いJ 撤去		10	組	10 組	×	1	=	10		
	歩道 美化	花苗	樹花壇用花苗配布	26,000	株	26,000 株	×	1	=	26,000		
	鳥獣 対応	カ ラ ス ・ ハ チ	カラスの巣撤去（人力）	適宜	1	箇所					計画外	
			カラスの巣撤去（高所作業車12m）	適宜	1	箇所					計画外	
			カラスの巣撤去（高所作業車18.5m）	適宜	1	箇所					計画外	
			ハチの巣撤去	適宜	1	箇所					計画外	

設 計 項 目				設計数量	単位	数 量	回数	総 数	備考			
安全費	交通管理	交通誘導員B		200	人日				計画外			
		交通誘導員A		10	人日							
地区特有作業	清掃	植樹・帯清掃	環状線（リング並木）	37.8	1000㎡	9,460 ㎡	×	4	=	37,840	有効数値 3 桁	
		清掃A	豊平ふれあい通	13.7	1000㎡	981 ㎡	×	14	=	13,734	有効数値 3 桁	
		清掃B	豊平ふれあい通	0.9	1000㎡	981 ㎡	×	1	=	981	有効数値 2 桁	
		清掃C	豊平ふれあい通	1.9	1000㎡	981 ㎡	×	2	=	1,962	有効数値 2 桁	
	草刈	草刈Ⅰ（モア95％；手刈5％；全片づけ）	環状線（リング並木）	353	100㎡	8,831 ㎡	×	4	=	35,324	有効数値 3 桁	
		草刈Ⅱ（刈払機95％；手刈5％；全片づけ）	環状線（リング並木） リング植栽箇所周辺	25	100㎡	629 ㎡	×	4	=	2,516	有効数値 2 桁	
		草刈Ⅲ（刈払機95％；手刈5％；全片づけ）	豊平ふれあい通	9	100㎡	300 ㎡	×	3	=	900	有効数値 3 桁	
	樹木管理	補植	街路樹植栽	ナナカマド	1	本				計画外		
	施設管理	冬囲い	水飲み台冬囲い設置C	小学校北通	1	基	1 基	×	1	=	1	計画外 計画外
			水飲み台冬囲い撤去C	小学校北通	1	基	1 基	×	1	=	1	
		その他	簡易看板設置B	適宜	15	基						
			簡易看板設置C	適宜	20	基						
	リング並木管理	リング管理	巡視(病害虫予防)	環状線（リング並木）	31	回						
			摘果作業	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			袋掛・袋外し作業	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			葉切り作業	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			早生種収穫作業	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			中間種収穫作業	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			晩生種収穫作業	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			冬季剪定作業	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			樹皮削り作業	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			薬剤散布A	環状線（リング並木）（年9回）	8,000	L						
			春季蒔肥	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
			秋季蒔肥	環状線（リング並木）	1	回	1 カ所	×	1	=	1	
		リング補植	植栽基盤改良（1本あたり3.8m3）	環状線（リング並木）	1	本	1 本	×	1	=	1	
			リング樹木代	環状線（リング並木）	1	本	1 本	×	1	=	1	
			道路植栽（植樹）	環状線（リング並木）	1	本	1 本	×	1	=	1	
			丸太支柱	環状線（リング並木）	1	組	1 本	×	1	=	1	
処理費	焼却処理		40	t								
	木くず再生		1	t								
	タンコロ・枝外買取		10	t								
	長材・タンコロ等買取	長材 買取	10	m3								
		根株 買取	10	t								

※網掛け部分は計画外作業